令和２年度
坂井市教育委員会の事務の管理及び
執行状況の点検・評価報告書

坂井市教育委員会

― 目　　次 ―

Ⅰ　はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅱ　点検・評価について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

Ⅲ　令和２年度坂井市教育委員会の活動状況

　１　教育委員会の会議開催等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

　２　教育長・教育委員会委員の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

　　２－１指導主事学校訪問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

　　２－２全国大会等出場激励会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

　３　委員会、審議会等の審議状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

　４　教育委員会関係の許認可の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

Ⅳ　教育委員会関係事業の取組実績

　令和２年度事業別施策の成果報告書

　　○ 教育総務課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

　　○ 学校教育課（給食センター）・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

　　○ 生涯学習スポーツ課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１

　　○ 文化課（みくに龍翔館、丸岡城国宝化推進室）　・・・・　４１

　　○ 市立図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５０

Ⅴ　有識者からの意見　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３

Ⅰ　はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下、「地教行法」という。）の一部改正により、平成２０年４月から、毎年、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

【参考】
「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（抜粋）
（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）
第 26 条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

本報告書「令和２年度坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」（以下、「点検・評価報告書」という。）は、地教行法の規定に基づき、より効果的な教育行政の推進と市民の皆様に対する説明責任を果たすため、市教育委員会が令和２年度の主要施策の取組結果とともに、教育委員会の各種活動状況について点検・評価をまとめたものです。

Ⅱ　点検・評価について

１　対象期間

令和２年度（令和２年４月～令和３年３月）

２　点検・評価方法

（１）点検・評価報告書の作成

教育委員会において点検・評価報告書案を作成

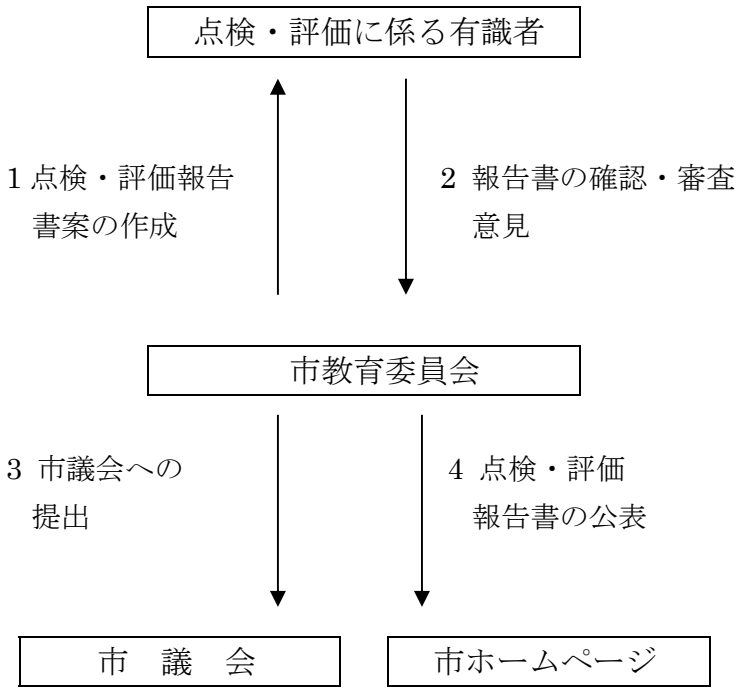
（２）点検・評価報告書の確認、審査

有識者による点検・評価報告書案の内容の確認及び審査

（３）点検・評価結果の公表

点検・評価報告書を市議会に提出するとともに、市のホームページにおいて公表

〔点検・評価フロー〕



Ⅲ　令和２年度　坂井市教育委員会の活動状況

１　教育委員会の会議開催等の状況

(1) 坂井市教育委員会　教育長、委員

（令和元年５月１１日現在）

	氏　名	職　業
教育長	川元　利夫	
委員（教育長職務代理者）	田中　典夫	公益財団理事
委員	宮﨑　美恵子	医療法人理事
委員	若松　静榮	茶道教授
委員	牧田　靖夫	会社役員

（令和２年５月１１日現在）

	氏　名	職　業
教育長	川元　利夫	
委員（教育長職務代理者）	宮﨑　美恵子	医療法人理事
委員	若松　静榮	茶道教授
委員	牧田　靖夫	会社役員
委員	田中　典夫	公益財団理事

(2) 教育委員会の開催状況

・　開催回数　　１３回
・　附議事項　　３４件

(3) 教育委員会審議案件

○　４月定例教育委員会〔令和２年４月２１日（火）〕　書面決議

議案第１号　坂井市学校事務共同実施組織責任者の指定について
議案第２号　就学指定校の変更許可について
議案第３号　坂井市文化財保護審議会委員の承認について
議案第４号　坂井市文化未来会議委員の承認について
議案第５号　坂井市一筆啓上日本一短い手紙の館運営審議会委員の承認について
議案第６号　坂井市立図書館協議会委員の承認について

○　５月臨時教育委員会〔令和２年５月１１日（月）〕　書面決議
議案第７号　坂井市教育委員会教育長職務代理者の指名について
議案第８号　坂井市教育委員会委員の席次の決定について
議案第９号　令和２年度福井県義務教育諸学校教科用図書採択坂井地区協議会の設置および採択地区協議会の協議結果に基づき採択することに関する議決について

○　５月定例教育委員会〔令和２年５月２６日（火）〕
議案なし

○　６月定例教育委員会〔令和２年６月２３日（火）〕
議案第１０号　坂井市就学援助費支給要綱の一部改正について
議案第１１号　就学指定校の変更許可について
議案第１２号　坂井市社会教育指導員設置等に関する規則の一部改正について

○　７月定例教育委員会〔令和２年７月２８日（火）〕
議案第１３号　就学指定校の変更許可について
議案第１４号　坂井市文化財保護審議会に諮問することの協議について
議案第１５号　県指定文化財の新規指定にかかる市指定文化財の指定解除について

○　８月定例教育委員会〔令和２年８月２６日（水）〕
議案第１６号　令和２年度教科用図書採択坂井地区協議会結果の承認について
議案第１７号　就学指定校の変更許可について

○　９月定例教育委員会〔令和２年９月２４日（木）〕
議案第１８号　就学指定校の変更許可について

○　１０月定例教育委員会〔令和２年１０月２７日（火）〕
議案第１９号　就学指定校の変更許可について

○　１１月定例教育委員会〔令和２年１１月２４日（火）〕
議案第２０号　坂井市えがおエール（応援）券事業実施要綱の制定について
議案第２１号　就学指定校の変更許可について

○　１２月定例教育委員会〔令和２年１２月２２日（火）〕

議案第２２号　坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について

議案第２３号　坂井市新型コロナウイルス感染症収束に向けた県内修学旅行支援事業補助金交付要綱の制定について

議案第２４号　就学指定校の変更許可について

○　１月定例教育委員会〔令和３年１月２１日（木）〕

議案第２５号　坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について（追加）

議案第２６号　就学指定校の変更許可について

○　２月定例教育委員会〔令和３年２月１７日（水）〕

議案第２７号　坂井市視聴覚ライブラリー条例施行規則の廃止について

議案第２８号　坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について（追加）

議案第２９号　就学指定校の変更許可について

○　３月定例教育委員会〔令和３年３月２４日（水）〕

議案第３０号　坂井市教育委員会行政組織規則の一部改正について

議案第３１号　坂井市教育委員会職員の職名に関する規則の一部改正について

議案第３２号　坂井市教育委員会文化課所管補助金等交付要綱の一部改正について

議案第３３号　坂井市指定文化財の名称変更について

議案第３４号　就学指定校の変更許可について

２　教育長、教育委員会委員の活動状況

	月　　日	委　　員　　名	活　　動　　内　　容
1	令和2年4月1日	川元	教育委員会辞令交付式
2	4月2日	(川元、宮﨑、若松、牧田、田中)	教職員着任式（中止）
3	4月4日	(川元)	雄島コミセンお披露目会（中止）
4	4月6日	(川元)	丸岡バスターミナル交流センター竣工記念式典（中止）
5	4月7日	川元	坂井地区教育振興研究会代表者会
6	4月8日	(川元)	福井県都市教育長協議会総会（中止）
7	4月9日	(川元)	スポーツ推進委員委嘱式・全体会（中止）
8	4月14日	川元	第１回坂井地区教育長会
9	4月16日～17日	(川元)	東海北陸都市教育長協議会定期総会・研究大会（三重県桑名市・中止）
10	4月26日	(川元、宮﨑、若松、牧田、田中)	第２７回一筆啓上顕彰式（中止）
11	4月28日	川元	福井県市町教育長会議
12	5月13日	(川元、宮﨑、若松、牧田、田中)	福井県市町教育委員会連絡協議会総会・研修会（敦賀市・中止）
13	5月13日～14日	(川元)	北陸ブロックB&G地域海洋センター連絡協議会総会（中止）
14	5月15日	(川元、宮﨑、若松、牧田、田中)	英国派遣団報告会(中止)
15	5月21日～22日	(川元)	全国都市教育長協議会定期総会・研究大会（山口市・R3に延期）
16	5月22日	川元	福井県市町教育長会議
17	5月23日	(川元、宮﨑、若松、牧田、田中)	各中学校入学式（縮小）来賓出席なし
18	5月25日	川元、宮﨑、若松、牧田、田中	採択坂井地区協議会
19		川元、宮﨑、若松、牧田、田中	坂井地区合同教育委員会(坂井地区学校教育研究会総会)
20	6月2日～3日	(川元)	日本サッカーを応援する自治体連盟総会（東京・中止）
21	6月8日	川元	福井県市町教育長会議
22	6月28日	(川元)	福井県合同読書会（中止）
23	6月30日	川元	全国高校総体サッカー競技委員会設立総会・第１回総会
24	7月3日	(川元、宮﨑、若松、牧田、田中)	英国招へい団市長表敬訪問（中止）
25		(川元、宮﨑、若松、牧田、田中)	英国招へい団教育委員会主催懇談会（中止）
26	7月10日	川元、若松	第１回市民文化祭実行委員会
27	7月28日	川元、宮﨑、若松、牧田、田中	第１回総合教育会議
28	7月29日	川元、宮﨑、牧田、田中	採択坂井地区協議会
29		川元	福井県市町教育長会議
30	8月1日	(川元)	三国町地区対抗小学生スポーツ大会（野球）（中止）
31		(川元)	三国町地区対抗小学生スポーツ大会（バレーボール）（中止）
32	8月8日	川元、宮﨑、牧田、田中	令和元年度英国派遣団解団式
33	8月19日	川元	教育振興研究会代表者会
34	8月20日	川元	福井県市町教育長会議
35	8月22日	川元	海からのおくりもの2020
36		(川元)	くちなし忌（中止）
37	9月1日	若松	坂井中学校体育祭
38	9月2日	田中	丸岡中学校体育祭
39	9月3日	宮﨑	三国中学校体育祭
40	9月4日	田中	丸岡南中学校体育祭
41	9月5日	川元	まちづくりカレッジ開講式
42	9月8日	牧田	春江中学校体育祭
43	9月10日	川元、田中	鳴鹿小学校運動会
44	9月15日	川元、田中	磯部小学校運動会
45	9月16日	川元、田中	明章小学校運動会
46	9月17日	川元、若松	東十郷小学校運動会
47	9月18日	川元	福井県市町教育長会議
48	9月23日	川元	第２回坂井地区教育長会
49	9月27日	川元	丸岡スポーツランドネーミングライツ愛称決定記念セレモニー
50		川元	坂井市バウンドテニス競技・体験教室および交流会
51	9月28日	川元、若松	大関小学校運動会
52	9月29日	川元、牧田	春江小学校運動会
53	9月30日	川元、宮﨑	三国南小学校運動会

２　教育長、教育委員会委員の活動状況

	月　　日	委　　員　　名	活　　動　　内　　容
54	10月1日	川元、宮﨑、田中	加戸・長畝小学校運動会
55	10月6日	川元、宮﨑	雄島小学校運動会
56	10月8日	川元、宮﨑	三国北小学校運動会
57	10月11日	川元、牧田、若松	春江東小・木部小学校運動会
58	10月22日	川元、牧田	春江西小学校運動会
59	10月24日	川元	県内定時制・通信制高校連合文化祭
60	10月27日	川元、若松	兵庫小学校運動会
61		(川元)	福井県市町教育長研修会・懇談会（中止）
62	10月28日	(川元)	福井県市町教育長研修会（中止）
63		川元、宮﨑、田中	三国西小・平章小・高椋小学校運動会
64	10月29日	川元、牧田	大石小学校運動会
65	10月30日	(川元)	北陸四県数学教育研究（あわら・坂井）大会（中止）
66	10月31日	川元、宮﨑、若松、牧田、田中	市民文化祭総合開会式
67	11月8日	川元	SOMPOボールゲームフェスタ
68		川元	ふくいきらめきフェスティバル2020
69	11月14日	川元	福井県ＰＴＡ活動地区別研修会
70	11月20日	川元	健全育成「一筆啓上」標語コンクール表彰式
71	11月21日	川元	坂井市ＰＴＡ連合会と教育委員会　語る会
72	11月23日	川元	丸岡町体育祭
73	11月24日	川元	福井県市町教育長会議
74	11月25日	川元、宮﨑、若松、牧田、田中	坂井地区合同教育委員会
75	11月27日	(宮﨑、若松)	福井県女性教育委員の会（中止）
76	12月1日	川元	巡回公演事業　本公演　（人形劇）
77	12月2日	川元	巡回公演事業　本公演　（演劇）
78	12月4日	川元	巡回公演事業　本公演　（落語）
79		川元、宮﨑、若松、牧田、田中	坂井市ふるさとづくり大会
80	12月16日	川元	第３回坂井地区教育長会
81	12月23日	川元	第４回坂井地区教育長会
82	12月31日	川元	全国高校ｻｯｶｰ選手権(丸岡高校VSルーテル学院)パブリックビューイング
83	1月15日	(川元)	坂井地区校長会学校運営研究大会（中止）
84	1月21日	川元、宮﨑、若松、牧田、田中	第２回総合教育会議
85	1月27日	川元、宮﨑、若松、牧田、田中	夏井いつき親子句会ライブ
86	1月29日	川元	一筆啓上入賞者発表会
87	1月31日	川元	坂井市小学生親善かるた大会
88	2月2日	川元	第３回坂井地区教育長会
89	2月6日	川元、宮﨑、若松、牧田、田中	福井ふるさと教育フェスタ
90	2月12日	川元	福井県市町教育長会議
91	3月6日	川元、牧田	地域計画フォーラム
92	3月7日	川元	坂井市民競技かるた大会
93		川元	木部春のふれあいまつり
94		川元	郷土芸能祭
95	3月12日	川元、宮﨑、若松、牧田、田中	各中学校卒業証書授与式
96	3月13日	川元、宮﨑、若松、牧田、田中	坂井市教育委員会表彰
97	3月16日	川元、宮﨑、若松、牧田、田中	各小学校卒業証書授与式
98	3月21日	川元、宮﨑、若松、牧田、田中	坂井市成人式
99	3月23日	教育審議監代理出席	福井県市町教育長会議
100	3月24日	川元	善行青少年表彰
101	3月31日	川元、宮﨑、若松、牧田、田中	教職員離任式

※教育委員会会議は、前項に開催状況の記載があるため本表からは除いてあります。
※指導主事訪問および全国大会出場激励会は、別途一覧表（次頁以降参照）があるため本表からは除いてあります。
※委員名の（　）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため出席予定行事が縮小または中止になったものです。

２－１ 指導主事学校訪問

	時　　期		出席委員名	活　動　内　容
1	前期	令和2年6月24日	川元	指導主事学校訪問（春江小）
2		7月15日	川元、宮﨑	指導主事学校訪問（加戸小）
3		7月16日	川元、田中	指導主事学校訪問（明章小）
4		7月17日	川元、若松	指導主事学校訪問（大関小）
5		7月22日	川元、牧田	指導主事学校訪問（大石小）
6	後期	10月2日	川元、田中	指導主事学校訪問（春江西小）
7		10月6日	川元、宮﨑	指導主事学校訪問（三国西小）
8		10月7日	川元、牧田	指導主事学校訪問（平章小）
9		10月8日	川元、若松	指導主事学校訪問（兵庫小）
10		10月13日	川元、田中	指導主事学校訪問（高椋小）
11		10月14日	川元、牧田	指導主事学校訪問（春江中）
12		10月20日	川元、宮﨑	指導主事学校訪問（三国中）
13		10月22日	川元、牧田、若松	指導主事学校訪問（鳴鹿小）
14		10月23日	川元、若松	指導主事学校訪問（坂井中）
15		10月28日	川元、宮﨑	指導主事学校訪問（三国南小）
16		10月30日	川元、若松	指導主事学校訪問（東十郷小）
17		11月5日	川元、宮﨑	指導主事学校訪問（雄島小）
18		11月6日	川元	指導主事学校訪問（春江東小）
19		11月10日	川元、若松	指導主事学校訪問（木部小）
20		11月13日	川元、田中	指導主事学校訪問（磯部小）
21		11月19日	川元、牧田	指導主事学校訪問（丸岡中）
22		11月20日	川元、田中	指導主事学校訪問（丸岡南中）
23		11月26日	宮﨑	指導主事学校訪問（三国北小）
24		12月1日	川元、田中	指導主事学校訪問（長畝小）

２－２ 全国大会等出場激励会

	開催日	内　　容	所管課
1	令和2年10月8日	全国大会出場激励会（全国中学生陸上）	生涯学習スポーツ課
2	10月16日	全国大会出場激励会（全日本女子フットサル選手権）	生涯学習スポーツ課
3	12月22日	全国大会出場激励会（全国高校サッカー選手権）	生涯学習スポーツ課
4	12月23日	全国大会出場激励会（全日本チアダンス選手権）	生涯学習スポーツ課
5	12月25日	全国大会出場激励会（全日本U-15女子フットサル選手権）	生涯学習スポーツ課
6	令和3年3月11日	全国大会出場激励会（全国高等専門学校サッカー選手権、全国小学生ソフトテニス）	生涯学習スポーツ課
7	3月17日	全国大会出場激励会（全日本バトントワーリングジュニア選手権）	生涯学習スポーツ課
8	3月17日	全国大会出場激励会（全日本アンサンブルコンテスト）	文化課
9	3月25日	全国大会出場激励会（都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール）	生涯学習スポーツ課
10	3月25日	全国大会出場激励会（小中学生かるた選手権）	文化課

※教育長が出席

3　12月22日、全国大会出場激励会（全国高校サッカー選手権）は、教育長、宮﨑、若松、牧田、田中委員が出席

３　委員会、審議会等の審議状況

名　　称	委員数	会　議 開催数	件　　名	種別	年月日
坂井市教育支援委員会	37(31)	8	・教育支援委員会 園児児童生徒の就学先個別判断・決定について ・教育支援委員専門委員会 園児児童生徒の就学相談について	協議	R2.4.15 R2.6.17 R2.7.9 R2.8.5 R2.8.28 R2.9.30 R2.11.25 R3.1.20
坂井市社会教育委員の会	15(5)	4	・令和2年度社会教育関係事業の概要について ・合宿通学事業 ・「ふるさとづくり大会」について ・国際交流事業について	協議	R2.6.12 R2.8.31 R2.12.25 R3.3.26
坂井市スポーツ推進委員会	38(11)	11	・令和2年度事業計画について ・スポーツ推進委員会及び各部会の運営について ・坂井地区研修会について ・わんぱく大運動会企画について ・ニュースポーツラリーについて ・委員内研修会について ・しあわせの花体操について ・ケーブルテレビによる競技紹介について ・令和2年度事業活動について ・令和3年度事業計画・体制について	協議	R2.5.25 R2.7.1 R2.7.17 R2.8.19 R2.9.16 R2.10.1 R2.10.26 R2.10.29 R3.2.9 R3.2.17 R3.3.3
坂井市青少年愛護センター運営委員会	20(5)	2	・愛護センターの事業報告 ・愛護センターの事業計画 ・青少年の動向 ・補導活動、相談業務	協議	R2.7.2 R2.12.2
ワールドマスターズゲームズ2021関西坂井市実行委員会	19(0)	2 （書面決議）	・第2回総会（書面決議） ・委員及び事務局員の変更 ・会長専決処分承認 ・各種計画の策定 ・各種要項の策定 ・令和2年度事業計画 ・令和2年度収支予算 ・臨時総会（書面決議） ・委員の変更 ・開催期間の変更	協議	R2.4.27 R2.10.28

３　委員会、審議会等の審議状況

名　　称	委員数	会　議 開催数	件　　名	種別	年月日
坂井市文化財保護審議会	9(0)	3	・令和2年度事業計画について ・吉谷寺跡の現状変更許可申請について ・文化財台帳について ・東尋坊再整備事業について ・第1回文化財保護審議会（書面決議）の結果について ・坂井市文化財保存活用地域計画について ・六呂瀬山古墳群の発掘調査について ・瀧谷寺所蔵絵画の調査について ・仏像調査について ・竹田地区の道場所蔵資料について ・文化財看板の設置について ・吉谷白山神社の十一面千手観音坐像に関する事案について ・令和2年度末事業報告 ・市指定文化財　米ケ脇西光寺四脚門・鐘楼の名称変更について ・次年度以降の審議会運営及び文化財調査について ・丸岡城周辺整備基本計画について	会議 （書面） 会議 会議	R2.6.12 R2.9.30 R3.3.17
坂井市文化未来会議	12(4)	3	・今年度の主な文化課事業について ・今年度の視察研修について ・先進地視察研修（福井県若狭町：年縞博物館・熊川宿等） ・文化教育普及活動実績および来年度の方向性について	会議 会議 視察 会議	R2.7.13 R2.11.9 R2.11.26 R3.3.2
坂井市一筆啓上日本一短い手紙の館運営審議会	6(1)	3	・令和2年度事業計画について ・令和2年度の事業経過および運営状況等の報告について ・令和2年度事業報告および次年度の運営計画について	会議 会議 会議	R2.7.30 R2.12.15 R3.3.25
六呂瀬山古墳群調査整備委員会	4(0)	1	・会長・副会長の選任 ・六呂瀬山古墳群の事業計画について ・発掘調査場所の全体計画ならびに整備について	会議	R2.11.19
坂井市文化財保存活用地域計画協議会	21(2)	2	・計画作成事業説明および今後のスケジュールについて ・調査および計画作成進捗状況の報告 ・計画内容の協議 ・次年度の事業予定について	会議 会議	R2.8.19 R3.2.28
丸岡城調査研究委員会	10(1)	3	・丸岡城の耐震診断に関すること	会議 会議 会議	R2.8.18 R2.12.21 R3.3.9
みくに龍翔館リニューアル検討委員会	8(1)	2	・令和2年度事業経過報告 ・みくに龍翔館リニューアル設計の報告 ・今後の事業スケジュールについて	会議 会議	R2.11.6 R3.3.22
坂井市図書館協議会	11(8)	2	・図書館の概要について ・令和2年度事業報告について ・令和2年度決算報告について ・令和3年度事業計画について ・令和3年度坂井市立図書館利用状況、各館の行事報告 ・令和3年度主要事業および予算の概要について	協議	R2.7.22 R3.2.18

※委員数のうち（　）内は女性の委員数

４　教育委員会関係の許認可の状況

（１）文化財の指定状況

＜指定文化財の現状＞　　令和3年3月31日現在

区　　分	国			県指定	市		計
	指定	選定・選択	登録		指定	登録	
国　　宝	1						1
重要文化財	9						9
有形文化財			12 (+2)	20 (+1)	34 (−1)	3	69 (+2)
無形文化財							0
重要有形民俗文化財							0
有形民俗文化財					1		1
重要無形民俗文化財							0
無形民俗文化財				6	6		12
特別史跡							0
史　　跡	2			3	12	3	20
特別名勝							0
名　　勝	1						1
特別天然記念物							0
天然記念物	1			3	6		10
特別名勝天然記念物							0
名勝天然記念物	1						1
重要伝統的建造物群 保存地区							0
選定保存技術							0
登録記念物			1				1
合　　計	15	0	13 (+2)	32 (+1)	59 (−1)	6	125 (+2)

※（　）内は年度内増減数

令和２年度解除（1件）
○有形文化財（市指定　彫刻　1件）
　木造女神坐像（令和2年8月4日解除）

令和２年度指定（県指定　彫刻　1件）
○有形文化財（県指定　彫刻　1件）
　木造女神坐像（令和2年8月4日指定）

令和２年度登録（国登録　建造物　2件）
○有形文化財（国登録　建造物　2件）
　①旧大木道具店店舗兼主屋（令和3年2月4日指定）
　②旧大木道具店土蔵（令和3年2月4日指定）

Ⅳ 教育委員会関係事業の取組実績

令和２年度事業別施策の成果報告書

坂井市教育委員会

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費
大事業	001	教育委員会運営事業						決算書 P. 193	
中事業	01	教育委員会運営事業						所管部局	教育委員会事務局 教育総務課

予算額	当初	決算額	不用額
	2,973 千円	2,544 千円	429 千円
前年度	2,684 千円	2,667 千円	17 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

生涯学習、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進するため、教育委員会および総合教育会議を開催する。また、学校教育、社会教育、体育および芸術分野で優秀な成績を収め、活躍した人などを表彰し、一層の振興を図る。

【事業の概要】

◆教育委員会運営事業　2,457 千円
- ○報酬（教育委員会委員4名）　2,400 千円
- ○需用費（印刷製本費）　4 千円
- ○負担金（県市町教育委員会連絡協議会負担金）　53 千円

◆教育委員会表彰事業　87 千円
- ○報償費（記念品等）　77 千円
- ○需用費（消耗品費）　10 千円

【事業の成果と改善点等】

月1回の定例会および臨時会合わせて教育委員会を13回、また、総合教育会議を2回開催し、教育行政について協議を行った。

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	02	事務局費
大事業	051	教育委員会事務局事業						決算書 P. 195	
中事業	01	教育委員会事務局事業						所管部局	教育委員会事務局 教育総務課

予算額	当初 補1 補4	決算額	不用額
	134,340 千円	122,294 千円	12,046 千円
前年度	9,156 千円	7,706 千円	1,450 千円

主な特定財源			
	国庫支出金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	102,767 千円
	寄附金	指定寄附金	1,500 千円
	諸収入	競艇事業収入	11,035 千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

教育行政を一体的に推進するため、教育委員会事務局全体の運営調整を図る。
また、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、各種対策を図る。

【事業の概要】

◆教育委員会事務局事業　7,199 千円
- ○報酬（会計年度任用職員）　1,649 千円
- ○職員手当等（期末手当）　155 千円
- ○旅費（費用弁償）　24 千円
- ○交際費（教育長交際費）　59 千円
- ○需用費（消耗品費、印刷製本費等）　453 千円
- ○委託料（中高連絡協議会事業委託料他）　952 千円
- ○賃借料（車両借上料）　4 千円
- ○負担金（坂井地区教育振興会負担金他）　2,219 千円
- ○補助金（小中学校教育振興費奨励金他）　1,684 千円

◆省エネ対策事業　0 千円

◆新型コロナウイルス対策事業　34,290 千円
- ○需用費（消耗品費）　16,416 千円
- ○委託料（施設管理委託料）　17,214 千円
- ○賃借料（電気機器借上料）　660 千円

◆新型コロナウイルス対策事業　学校教育課　80,805 千円
- ○需用費（消耗品費）　47 千円
- ○役務費（通信運搬費）　1,199 千円
- ○委託料（小中学生支援事業委託料）　79,559 千円
  坂井市えがおエール（応援）券（小中学生）事業委託

【事業の成果と改善点等】

教育行政全般にわたり運営調整を図るとともに、教育振興会等への支援を行い教育振興に取り組んだ。また、新型コロナウイルス感染症に関しては、消毒液などの購入や清掃業務の委託により拡大防止に努めたほか、コロナ禍においても子どもたちが笑顔で楽しく過ごせるように市内店舗で利用できる商品券を配布した。

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
大事業	051	小学校管理事業						決算書 P. 197	
中事業	01	小学校管理事業						所管部局	教育委員会事務局 教育総務課

予算額	当初 補3 補5	決算額	不用額
	605,938 千円	509,265 千円	96,673 千円
前年度	309,605 千円	289,521 千円	20,084 千円

主な特定財源			
国庫支出金	公立学校情報機器整備費補助金	153,450 千円	
国庫支出金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	39,369 千円	
市債	小学校建設事業債	21,900 千円	
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【上記決算額内訳】

当該年度分	予算額	605,938 千円	決算額	509,265 千円
翌年度への繰越額	18,400 千円			

【事業の目的】

市内の小学生が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内19小学校の適正な維持管理を行う。

GIGAスクール構想に基づき、1人1台端末（タブレット）を整備する。

新型コロナウイルス感染症対策のため、消毒液などの消耗品や備品を購入するなど、感染拡大防止を図る。

【事業の概要】

◆小学校管理事業　本庁　382,995 千円

- ○給料（会計年度任用職員･用務員）　15,290 千円
- ○職員手当等（通勤手当、期末手当）　3,671 千円
- ○旅費（用務員）　313 千円
- ○需用費（修繕料他）　20,703 千円
- ○役務費（火災保険料他）　12,348 千円
- ○委託料（各種保守点検委託料他）　34,768 千円
- ○使用料及び賃借料（土地借上料、教育用コンピュータ他）　68,043 千円
- ○工事請負費（雄島小学校屋内運動場屋根改修工事他）　30,237 千円
- ○原材料費（机天板、椅子座面、グラウンド安定剤他）　1,475 千円
- ○公有財産購入費（大関小学校用地）　12,304 千円
- ○備品購入費（タブレット他）　183,843 千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
大事業	051	小学校管理事業						決算書 P. 197	
中事業	01	小学校管理事業						所管部局	教育委員会事務局 教育総務課

…【前頁より】

◆小学校管理事業　各小学校　125,074 千円

市内19の小学校にて対応する維持管理費

- ○需用費（消耗品費、光熱水費他）　97,672 千円
- ○役務費（通信運搬費他）　4,684 千円
- ○委託料（各種保守点検料）　3,880 千円
- ○賃借料（複写機リース料他）　1,228 千円
- ○工事請負費（網戸・換気扇取付工事他）　2,014 千円
- ○備品購入費（テント、ジェットヒーター他）　15,596 千円

（ 翌年度繰越 ）

- ○需用費（新型コロナウイルス対策消耗品費）　18,400 千円

◆省エネ対策事業　1,196 千円

- ○使用料（デマンド監視システム使用料）　1,196 千円

【事業の成果と改善点等】

小学校の適正な維持管理に努めた。

GIGAスクール構想に基づき児童1人1台のタブレット端末を整備した。

新型コロナウイルス感染症対策として、各小学校において各種対策を実施し感染拡大防止に努めた。なお、コロナ関係予算を一部翌年度へ繰越し、引続き感染拡大防止を図る。

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
大事業	101	小学校施設整備事業						決算書 P. 199	
中事業	01	小学校施設整備事業						所管部局	教育委員会事務局 教育総務課

予算額	当初 補3 補7	決算額	不用額
1,377,326 千円		893,708 千円	483,618 千円
前年度 856,916 千円		214,828 千円	642,088 千円

主な特定財源			
国庫支出金	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金	77,280 千円
市債	合併特例事業債	439,846 千円
市債	防災・減災・国土強靭化緊急対策事業債	76,100 千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【上記決算額内訳】

当該年度分	予算額	742,110 千円	決算額	436,547 千円
前年度繰越分	繰越分予算額	635,216 千円	繰越分決算額	457,161 千円
翌年度への繰越額		282,300 千円		

【事業の目的】

児童の安全安心を確保し災害に備えるため、建築後40年が経過し、かつ、以前の改修から20年を経過する学校について計画的に施設の大規模改造工事などを行う。

また、GIGAスクール構想に基づく高速大容量のネットワーク環境を構築するため、校内LAN整備を行う。

【事業の概要】

○委託料	169,296 千円
・春江、三国北小学校校舎大規模改造工事監理委託料	9,510 千円
・磯部小学校校舎大規模改造工事実施設計業務委託料	5,225 千円
・校内通信ネットワーク環境整備業務委託料	154,561 千円
○工事請負費	724,412 千円
・小学校トイレ改修工事（長畝小他3校）	80,718 千円
・小学校屋内運動場照明改修工事（三国南小他15校）	64,517 千円
・春江小学校校舎大規模改造工事＜Ⅱ期＞	281,177 千円
・三国北小学校校舎大規模改造工事＜Ⅰ期＞	298,000 千円
（ 翌年度繰越 ）	
○委託料	3,300 千円
・明章小学校校舎大規模改造工事＜Ⅰ期＞監理委託料	3,300 千円
○工事請負費	279,000 千円
・明章小学校校舎大規模改造工事＜Ⅰ期＞	184,000 千円
・小学校トイレ改修工事（三国南小他4校）	95,000 千円

【事業の成果と改善点等】

GIGAスクール構想に基づき校内通信ネットワーク環境を整備した。

教育環境の整備・改善のため、2校の校舎大規模改造工事（Ⅰ又はⅡ期）と、1校の校舎大規模改造工事に向けて実施設計業務委託を行った。また、4校のトイレ改修工事、16校の屋内運動場照明改修工事（LED化）を行った。

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理費
大事業	051	中学校管理事業						決算書 P. 201	
中事業	01	中学校管理事業						所管部局	教育委員会事務局 教育総務課

予算額	当初 補3 補5	決算額	不用額
259,104 千円		218,700 千円	40,404 千円
前年度 154,561 千円		146,762 千円	7,799 千円

主な特定財源			
国庫支出金	公立学校情報機器整備費補助金	77,220 千円
国庫支出金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	18,462 千円
繰入金	まちづくり整備基金繰入金	17,287 千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【上記決算額内訳】

当該年度分	予算額	259,104 千円	決算額	218,700 千円
翌年度への繰越額		7,200 千円		

【事業の目的】

市内の中学生が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内5中学校の適正な維持管理を行う。

GIGAスクール構想に基づき、1人1台端末（タブレット）を整備する。

新型コロナウイルス感染症対策のため、消毒液などの消耗品・備品を購入するなど、感染拡大防止を図る。

【事業の概要】

◆中学校管理事業　本庁　154,934 千円

○旅費（会計年度任用職員･用務員）	17 千円
○需用費（修繕料他）	9,093 千円
○役務費（火災保険料他）	4,160 千円
○委託料（各種保守点検委託料他）	18,252 千円
○使用料及び賃借料（土地借上料、教育用コンピュータ他）	23,250 千円
○工事請負費（丸岡南中学校木部塗装工事）	6,717 千円
○原材料費（机天板、椅子座面、グラウンド安定剤）	548 千円
○備品購入費（タブレット他）	92,897 千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理費
大事業	051	中学校管理事業						決算書 P. 201	
中事業	01	中学校管理事業						所管部局	教育委員会事務局 教育総務課

…【前頁より】

◆中学校管理事業　各中学校　63,451 千円
　市内5中学校にて対応する維持管理費
　○需用費（消耗品費、光熱水費他）　54,199 千円
　○役務費（通信運搬費他）　2,388 千円
　○委託料（各種保守点検料）　1,445 千円
　○賃借料（複写機リース料他）　721 千円
　○工事請負費（網戸取付工事）　363 千円
　○備品購入費（テント、プロジェクター他）　4,335 千円

　（ 翌年度繰越 ）
　○需用費（新型コロナウイルス対策消耗品費）　7,200 千円

◆省エネ対策事業　315 千円
　○使用料（デマンド監視システム使用料）　315 千円

【事業の成果と改善点等】
　中学校の適正な維持管理に努めた。
　GIGAスクール構想に基づき生徒1人1台のタブレット端末を整備した。
　新型コロナウイルス感染症対策として、各中学校において各種対策を実施し感染拡大防止に努めた。なお、コロナ関係予算を一部翌年度へ繰越し、引続き感染拡大防止を図る。

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理費
大事業	101	中学校施設整備事業						決算書 P. 203	
中事業	01	中学校施設整備事業						所管部局	教育委員会事務局 教育総務課

予算額	当初　補3	決算額	不用額
	158,700 千円	90,836 千円	67,864 千円
前年度	202,600 千円	68,358 千円	134,242 千円

主な特定財源			
	国庫支出金	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金	32,170 千円
	市債	学校教育施設等整備事業債	30,862 千円
	市債	合併特例事業債	25,154 千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【上記決算額内訳】

当該年度分	予算額	27,700 千円	決算額	26,497 千円
前年度繰越分	繰越分予算額	131,000 千円	繰越分決算額	64,339 千円

【事業の目的】
　市内全中学校において、GIGAスクール構想に基づく高速大容量のネットワーク環境を構築するため、校内LAN整備を行う。また、屋内運動場の照明がLED照明として整備されていない4中学校において、改修工事を実施し、施設の省エネ化を図る。

【事業の概要】
　○委託料　64,339 千円
　・校内通信ネットワーク環境整備業務委託料
　　施工場所：全中学校
　　整備内容：LANケーブル敷設替、アクセスポイント設置、
　　電源キャビネット設置他
　○工事請負費　26,497 千円
　・中学校屋内運動場照明改修工事
　　施工場所：4中学校（三国中学校以外）
　　整備内容：屋内運動場の照明をLED化

【事業の成果と改善点等】
　GIGAスクール構想に基づき校内通信ネットワーク環境を整備した。
　また、中学校屋内運動場の照明をLED化し、施設の省エネ化を図った。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	07	社会教育施設費
大事業	001	キンダーホール管理運営事業						決算書 P. 211	
中事業	01	キンダーホール管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 教育総務課

予算額 当初	決算額	不用額
40,010 千円	39,650 千円	360 千円
前年度 1,481 千円	1,340 千円	141 千円

主な特定財源	市債	社会教育施設整備事業債	29,500 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】
施設老朽化のため、施設利用を停止しているキンダーホールの建物を解体撤去する。

【事業の概要】
○役務費（火災保険料） 10 千円
○工事請負費 39,640 千円
・建物解体工事 30,085 千円
・建物新設工事（跡地整備） 9,456 千円
・修繕工事（石碑設置） 99 千円

【事業の成果と改善点等】
施設を解体し、跡地を駐車場とすることで、地域住民の利便性が図られた。

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	14	教育振興整備基金費
大事業	001	教育振興整備基金						決算書 P. 231	
中事業	01	教育振興整備基金						所管部局	教育委員会事務局 教育総務課

予算額 当初 補3	決算額	不用額
5,004 千円	5,004 千円	0 千円
前年度 12,604 千円	12,604 千円	0 千円

主な特定財源	財産収入	教育振興整備基金利子	4 千円
	寄附金	指定寄附金	5,000 千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】
坂井市の将来を担う子どもたちを、健全に育成することを目的とした教育の振興および教育施設の環境整備に必要な財源に充てるため、教育振興整備基金を設置している。

【事業の概要】
○積立金 5,004 千円
教育振興整備基金利子 4 千円
指定寄附金 5,000 千円

（参考）教育振興整備基金の状況 （単位：千円）

令和元年度末現在高		令和2年度中増減額		令和2年度末
3/31現在	5/31現在 ①	取崩額 ②	積立額 ③	現在高 ①-②+③
34,805	47,405	963	5,004	51,446

【事業の成果と改善点等】
利子および指定寄附金を積み立てるなど、適切に基金管理を行った。

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費
大事業	051	教育相談事業						決算書 P. 193	
中事業	01	教育相談事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初 補3	決算額	不用額
	18,554 千円	17,825 千円	729 千円
前年度	14,696 千円	14,518 千円	178 千円

主な特定財源	県支出金	スクールソーシャルワーカー活用事業委託金	2,512 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市内小中学校の児童生徒の不登校対策として、早期の学級復帰、社会的自立への支援、併せて保護者に対して子どもの理解や対応に関する指導等、教育相談業務の充実を図る。

【事業の概要】

◆教育相談事業 13,333 千円

○報酬	指導員4名、訪問員1名	9,099 千円
○職員手当等		1,441 千円
○報償費	協力者謝礼他	140 千円
○旅費	費用弁償、普通旅費	337 千円
○需用費	消耗品費、光熱水費、修繕料他	1,985 千円
○役務費	電話料、火災保険料、傷害保険料	110 千円
○委託料	各種保守点検料他	111 千円
○使用料及び賃借料	インターネット使用料他	56 千円
○備品購入費	施設用備品購入費	49 千円
○負担金	全国適応指導教室連絡協議会会費	5 千円

◆スクールソーシャルワーカー活用事業 4,492 千円

○報酬	2名	3,959 千円
○職員手当等	2名	367 千円
○旅費		166 千円

【事業の成果と改善点等】

不登校の児童生徒に対し、適応指導教室と学校が連携して保護者支援や児童生徒の個別指導を行った。また、学校対応が困難な事案はスクールソーシャルワーカーが連携することにより、福祉関係機関につなげるなど児童生徒本人やその家庭に対して支援を行った。

【事業の実績等】

適応指導教室通室者復帰率	年度	通室者数	復帰者数	復帰率
	R2	12人	7人	58.3%
	R元	21人	17人	80.9%

不登校児童生徒数 欠席日数が30日以上の人数	年度	小学生	中学生
	R2	22人	72人
	R元	28人	73人

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費
大事業	101	学校・学級運営支援事業						決算書 P. 195	
中事業	01	学校・学級運営支援事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初 補12 流用	決算額	不用額
	103,040 千円	93,569 千円	9,471 千円
前年度	92,178 千円	78,911 千円	13,267 千円

主な特定財源	県支出金	学校運営支援員派遣事業補助金	3,762 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	△ 67 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市内の小中学校における学級運営の円滑化のため、学習面、生活面で特別な支援を必要とする児童生徒の支援を行う学級サポーターを配置するなど、教育環境の充実を図る。

小学校英語の教科化により、教員の指導力や児童生徒の英会話力の向上が求められていることから、教科指導員を配置し、英語の授業内容の強化を図る。

【事業の概要】

◆学級運営支援事業 87,435 千円

○報酬	学級サポーター	72,823 千円
○給料	教科指導員	2,760 千円
○職員手当等		9,547 千円
○旅費	費用弁償	2,294 千円
○賃借料	車両借上料	11 千円

◆学校運営支援事業 6,134 千円

【負担割合】 国 1/3 県 1/3 市 1/3

○報酬	学校運営支援員22名	6,134 千円

【事業の成果と改善点等】

発達障がい等により、学習面や生活面で特別に支援を必要とする児童生徒のために、学級サポーターを配置し、対象となる児童生徒の学習支援と学級運営の円滑化を図った。

英語の教科指導員を配置することによって、特に小学校教員の英会話や授業の進め方のスキルアップにつながった。

また、教員の事務負担軽減のため学校運営支援員を配置し、教員の多忙化解消を図った。

【事業の実績等】

	R2実績	R元実績
学級サポーター数	66人（3月時点）	65人
学校運営支援員数	22人（3月時点）	18人

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業						決算書 P. 199	
中事業	01	小学校教育振興事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初 補3 補9	決算額	不用額
	122,472 千円	115,400 千円	7,072 千円
前年度	61,327 千円	57,667 千円	3,660 千円

主な特定財源			
県支出金	県内観光推進事業補助金		12,020 千円
県支出金	環境・エネルギー教育支援事業補助金		5,715 千円
県支出金	地域と進める体験推進事業補助金		900 千円
予算流用(増減)額	218 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

児童が、これからの社会において必要となる「生きる力」を身に付けるため、創意工夫された特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識および技能の習得とともに、思考力、判断力、表現力などの能力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。

【事業の概要】

◆小学校教育振興事業　本庁　81,908 千円

市内１９小学校の統括的な教育振興事業

○報酬	外国語指導助手　９名	5,883 千円
○報償費	卒業記念品他	982 千円
○需用費	教材用消耗品費、教育用印刷費	26,162 千円
○役務費	口座振込手数料他	189 千円
○委託料	各作品展運営委託料	55 千円
○使用料及び賃借料	校外活動車両借上料他	11,943 千円
○備品購入費	図書購入費、施設用備品購入費	24,178 千円
○負担金、補助金	県内観光推進事業補助金他	12,516 千円

◆小学校教育振興事業　各小学校　24,977 千円

市内19小学校にて対応する教育振興事業

○報償費	協力者謝礼	78 千円
○需用費	教材用消耗品費	11,930 千円
	印刷製本費	193 千円
	教材備品修繕料	372 千円
○備品購入費	教材用備品	12,404 千円

◆環境・エネルギー教育支援事業　5,715 千円

【実施校】　市内18小学校

【負担割合】　県 10/10

○備品購入費	理科教材用備品	5,715 千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業						決算書 P. 199	
中事業	01	小学校教育振興事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

…【前頁より】

◆地域と進める体験推進事業　2,800 千円

【実施校】　市内9校+10校（県事業期間終了）

【負担割合】　県1/2（１校100千円限度）、市1/2

○委託料（地域と進める体験学習委託料）　2,800 千円

小学校１校あたり200千円・9校分　1,800 千円

実施校	事業年度	主な活動計画内容
雄島小	H30～R2	地域の自然（森、海）観察体験、サーフィン体験学習
三国西小	H30～R2	らっきょう体験学習・調理、地域の伝統・文化の学習
平章小	H30～R2	丸岡城の学習・清掃活動
高椋小	H30～R2	米にちなんだ体験学習、野菜づくり・加工体験
磯部小	H30～R2	野菜づくり・収穫祭、豆腐づくり体験
春江小	H30～R2	防災体験・学習、避難所の看板づくり
大石小	H30～R2	ゆり球根の定植体験、地域の方との「ゆりの学習」
東十郷小	H30～R2	地域の施設についての学習・発表、地域の方との陶芸・お茶・生け花体験
兵庫小	H30～R2	米づくり体験（米の学習、生育調査、刈り取り）・発表

※県補助による各学校３年間の事業

小学校１校あたり100千円・１0校分　1,000 千円

実施校	事業年度	主な活動計画内容
三国南小	R2	農業体験（米・さつまいもづくり）地域のよさ再発見活動
三国北小	R2	三国の文化・産業学習、三国祭お囃子体験
加戸小	R2	さつまいもづくり・収穫祭
長畝小	R2	米・豆腐づくり体験
鳴鹿小	R2	農業体験（米・野菜づくり）、地域の歴史に関する体験学習
明章小	R2	米づくり体験、地域の園児との交流活動（マラソン大会）
春江西小	R2	米づくり体験、野菜・花づくり体験、町探検
春江東小	R2	アーモンドの収穫、アーモンド染め体験、アーモンドチョコづくり
大関小	R2	地域のごみ拾い、農業体験（米・さつまいもづくり）
木部小	R2	農業体験（もち米・さつまいもづくり）もちつき会、収穫祭

◆品川区連携プロジェクト事業　0 千円

【事業の成果と改善点等】

新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休校に伴い、家庭学習用の動画の視聴が全家庭で行えるよう対応を行った。また、再開後は、学習活動が著しく制限された中ではあったが、各学校や教員の創意工夫により、教育活動が展開された。

寄附市民参画の寄附金を活用して、大型モニターを３年生以上の普通教室に整備した他、児童用の本を購入し学校図書の充実を図ることができた。

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業						決算書 P. 201	
中事業	06	小学校児童健康管理事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初	決算額	不用額
	18,920 千円	18,053 千円	867 千円
前年度	17,729 千円	17,172 千円	557 千円

主な特定財源			
県支出金	子どもの目と歯の健康プロジェクト事業補助金	122	千円
諸収入	雑入（日本スポーツ振興センター負担金）	2,315	千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

小学校における児童の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。

【事業の概要】

学校保健安全法に基づき、児童の健康管理のため各種健康診断を行う。

・内科および歯科（全学年）、眼科（2年・5年）、耳鼻科（1年～3年）
・寄生虫（1年～3年）、尿（全学年）、心電図（1年）

○報償費	医師・歯科医師・薬剤師手当	9,996 千円
○需用費	事務用消耗品・印刷製本費	324 千円
○役務費	特定自主検査手数料	523 千円
○委託料	健康診断委託料	2,520 千円
○負担金	日本スポーツ振興センター負担金	4,691 千円
	加入者数　5,033 人	

【事業の成果と改善点等】

学校医および学校歯科医による健康診断の診断結果に基づき、養護教諭により児童一人一人の健康課題について指導を行い、児童の健康保持・増進を図った。

また、県の補助を受け、秋の歯科健診を実施し、保健指導、経過観察および治癒への継続的なケアを行い、う歯の治癒率の向上を図った。

【事業の実績等】

	R2実績	R元実績
スポーツ保険給付件数	176件	262件

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業						決算書 P. 201	
中事業	21	学校生活ボランティア推進事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初	決算額	不用額
	168 千円	85 千円	83 千円
前年度	168 千円	134 千円	34 千円

主な特定財源			
県支出金	学校生活ボランティア推進事業費補助金	85	千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

学校活動において、保護者および地域の人たちのボランティアによる活動を取り入れ、児童の学校生活を支援することで、地域と連携したきめ細かな教育体制の充実を図る。

【事業の概要】

○役務費　傷害保険料　85 千円
加入者数　244人

【事業の成果と改善点等】

市内すべての小学校において、読み聞かせや収穫体験等の活動に対し、学校生活ボランティアとして地域の方々の協力をいただいた。

新型コロナウイルス感染症の影響により、学校に外部の方を招くことが難しく、例年のような地域力を活かした教育の実現が困難であった。

【事業の実績等】

	R2実績	R元実績
加入者数	244人	382人

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業						決算書 P. 201	
中事業	26	ふれあい交流事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初 補12	決算額	不用額
	1,732 千円	607 千円	1,125 千円
前年度	4,712 千円	4,114 千円	598 千円
主な特定財源			千円 千円 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市の将来を担う子どもたちが、様々な交流を通して、各地域の個性と特色を尊重するとともに自らの地域を再認識し、郷土に対する愛着や誇りの気持ちを持てるよう、子どもたち同士の交流、地域との交流、小中学校間の交流を促進する。

【事業の概要】

○委託料　圃場管理委託料　102 千円

○賃借料　車両借上料　505 千円

【事業の成果と改善点等】

新型コロナウイルス感染症の影響により、他の学校との交流やふれあいが難しく、音楽交流会、連合運動会が中止となった。

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業						決算書 P. 201	
中事業	31	学力充実推進事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初 流用	決算額	不用額
	1,975 千円	1,423 千円	552 千円
前年度	2,141 千円	2,101 千円	40 千円
主な特定財源			千円 千円 千円
予算流用(増減)額	△ 218 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

児童一人ひとりの「確かな学力」の育成状況を正しく把握するとともに学習課題を分析し、児童の学習改善や教員の授業における工夫改善に活用するために全学年での学力調査を実施し、児童の学力向上と教員の指導力向上を図る。

【事業の概要】

小学校6年生を対象に行われる全国学力・学習状況調査の日程に合わせて、全小学校の2～5年生の国語と算数の2教科について坂井市学力調査を行う。

調査の結果を踏まえ、各小学校における傾向や課題を見つけて、これを解決することや対策を見出すことを目的とした各小学校の研究主任によるワークショップを開催し、学力向上に向けた授業づくりの研究等を行う。

○需用費　教材用消耗品費、教育用印刷費　1,423 千円

【事業の成果と改善点等】

例年、国が実施する学力調査の日程に合わせて坂井市学力調査を実施してきたが、新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休校により実施することができなかった。

臨時休校中に市立小中学校に在籍するすべての児童生徒が家庭学習で使用するための課題の印刷製本を行い、各学校から配布した。

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	051	児童就学援助事業						決算書 P. 201	
中事業	01	児童就学援助事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初	決算額	不用額
	33,500 千円	21,999 千円	11,501 千円
前年度	32,000 千円	29,835 千円	2,165 千円

主な特定財源			
国庫支出金	特別支援教育就学奨励費補助金	1,376 千円	
		千円	
		千円	
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

学校教育法第１９条の規定に基づき、経済的な理由により就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。

【事業の概要】

経済的な理由により就学が困難な児童の保護者に対して、給食費・学用品費・新入学用品費・修学旅行費・校外活動費・通学費等、学校生活に必要な経費の一部を援助する。

○扶助費

特別支援教育就学援助費　2,753 千円

要・準要保護児童就学援助費　19,246 千円

【事業の成果と改善点等】

就学援助を必要とする児童に対して、申請に基づき審査認定し、適正な援助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。

要・準要保護児童就学援助費については、国の基準単価に基づき援助をしている。新入学の準備に必要な費用を援助するため、新入学用品準備金の早期支給を実施した。

【事業の実績等】

	R2実績	R元実績	増減
特別支援教育就学援助人数	114人	116人	△2人
要・準要保護児童就学援助人数	382人	407人	△25人

※要・準要保護児童就学援助人数に新1年生入学準備金対象者を含む

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	101	小学校通学支援事業						決算書 P. 201	
中事業	01	小学校通学支援事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初 補4 補12	決算額	不用額
	140,143 千円	131,585 千円	8,558 千円
前年度	95,320 千円	92,100 千円	3,220 千円

主な特定財源			
国庫支出金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	42,426 千円	
諸収入	雑入（スクールバス利用者協力金）	5,596 千円	
		千円	
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市内の小学校に、一定距離を超える地区から通学する児童を対象にスクールバスの運行や路線バスの活用により、遠距離通学をする児童の支援を実施して、安全・安心な通学の確保を図る。

【事業の概要】

通学距離に応じて、スクールバスの委託運行や路線バスの利用料金の補助を行う。

区分	要件
１年生～３年生	学校からの距離が、概ね1.5km以上の地区
４年生～６年生	学校からの距離が、概ね2.0km以上の地区 （冬期間（12月～2月）は1.5km以上の地区）

○需用費　乗車証印刷製本費　30 千円

○委託料　125,858 千円

・スクールバス運行　三国地区（通年2台・冬期2台）増便5台
丸岡地区（通年6台・冬期8台）増便4台
春江地区（通年2台・冬期4台）増便1台
坂井地区（通年3台・冬期4台）増便2台

○賃借料　車両借上料　三国地区　204 千円

○補助金

・通学費補助金（三国地区）　5,493 千円

【事業の成果と改善点等】

新型コロナウイルス感染症対策のため、スクールバスのバス形状の大型化や便数を増便し、バス内が密集しないようにした。

【事業の実績等】

	R2実績	R元実績	増減
バス利用者数	1,240人	1,327人	△87人

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	中学校教育振興事業						決算書 P. 203	
中事業	01	中学校教育振興事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初 補9 補10	決算額	不用額
	58,903 千円	55,699 千円	3,204 千円
前年度	33,342 千円	32,646 千円	696 千円

主な特定財源			
県支出金	県内観光推進事業補助金	11,215	千円
県支出金	地域と進める体験推進事業補助金	200	千円
繰入金	寄附市民参画基金繰入金	15,776	千円

予算流用(増減)額	67 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

生徒が、これからの社会において必要となる「生きる力」を身に付けるため、創意工夫された特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識および技能の習得とともに、思考力、判断力、表現力その他の能力を育み、主体的に学習に取り組む態度を育成し、個性を生かす教育の充実を図る。

【事業の概要】

◆中学校教育振興事業　本庁　45,720 千円

市内５中学校の統括的な教育振興事業

○給料	学校図書館司書　5名	9,752 千円
○職員手当等		2,382 千円
○報償費	卒業記念品（印鑑）	649 千円
○旅費	普通旅費	17 千円
○需用費	教材用消耗品費、教育用印刷費	267 千円
○役務費	口座振込手数料他	670 千円
○備品購入費	図書購入費、施設用備品購入費他	20,755 千円
○負担金、補助金	県内観光推進事業補助金他	11,228 千円

◆中学校教育振興事業　各中学校　9,279 千円

市内５中学校にて対応する教育振興事業

○報償費	協力者謝礼	77 千円
○需用費	教材用消耗品費	5,584 千円
	印刷製本費（保健調査票等）	687 千円
	教材用備品修繕料	298 千円
○備品購入費	教材用備品購入費	2,633 千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	中学校教育振興事業						決算書 P. 203	
中事業	01	中学校教育振興事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

…【前頁より】

◆キャリア教育支援事業　0 千円

◆地域と進める体験推進事業　700 千円

【実施校】　2校+3校（県事業期間終了）

【負担割合】　県1/2（１校200千円限度）、市1/2

○委託料（地域と進める体験学習委託料）　400 千円

中学校１校あたり200千円・2校分

実施校	事業年度	主な活動計画内容
丸岡中	H30～R2	職業体験学習、地域の施設訪問（見学・体験学習）
春江中	H30～R2	地域の人々に向けた折り鶴アートの作成、地域の方による職業講座

＊県補助による各学校３年間の事業

中学校１校あたり100千円・3校分　300 千円

実施校	事業年度	主な活動計画内容
三国中	R2	三国町内の施設訪問・職業講習会、芝桜植栽
丸岡南中	R2	足踏み式消毒液スタンド作成・地域施設への配布
坂井中	R2	フラワーロード大作戦（花壇・プランターの整備）

◆道徳教育総合推進事業　0 千円

【事業の成果と改善点等】

各中学校に１名ずつ配置している学校図書館司書と教育委員会が連携して、学校図書館における生徒の意欲的な学習活動や読書活動の充実を図った。

職場体験をはじめとするキャリア教育は、新型コロナウイルス感染症の影響により、職業体験などの実施を見合わせたが、コロナ禍において、各学校が創意工夫をしながら、生徒自身が坂井市の魅力や特徴、そして自身の将来について考える機会を創出した。

地域と進める体験推進事業においては、全中学校の生徒が自らの地域について調査学習したり、地域行事に参加したりして、地域に誇りや愛着を持つ生徒の育成に取り組んだ。

寄附市民参画寄附金を活用し、大型モニターを普通教室に整備した他、生徒用の本を購入し学校図書の充実を図った。

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	中学校教育振興事業						決算書 P. 205	
中事業	06	中学校生徒健康管理事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初	決算額	不用額
	8,264 千円	7,948 千円	316 千円
前年度	7,484 千円	7,298 千円	186 千円

主な特定財源			
諸収入	雑入（日本スポーツ振興センター負担金）	1,178 千円	
		千円	
		千円	

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

中学校における生徒の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。

【事業の概要】

学校保健安全法に基づき、生徒の健康管理のため各種健康診断を行う。

・内科、歯科健診の実施（全学年）
・尿（全学年）、心電図（1年）検査の実施

○報償費	医師・歯科医師・薬剤師手当	3,208 千円
○需用費	健診票等印刷費	77 千円
○役務費	特定自主検査手数料他	282 千円
○委託料	健康診断委託料	1,999 千円
○負担金	日本スポーツ振興センター負担金	2,382 千円
	加入者数　2,563人	

【事業の成果と改善点等】

学校医および学校歯科医による健康診断の診断結果に基づき、養護教諭により生徒一人一人の健康課題について指導を行い、生徒の健康保持・増進を図った。

【事業の実績等】

	R2実績	R元実績
スポーツ保険給付件数	202件	316件

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	中学校教育振興事業						決算書 P. 205	
中事業	16	クラブ活動推進事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初	決算額	不用額
	26,839 千円	15,937 千円	10,902 千円
前年度	28,748 千円	25,928 千円	2,820 千円

主な特定財源		
県支出金	部活動指導員配置促進事業補助金	1,709 千円
県支出金	地域スポーツ指導者配置事業補助金	306 千円
		千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

学校教育の一環として、課外活動であるクラブ活動を実施し、技術力・競技力の向上を図るとともに、出場する全国大会などの部活動の実践の機会を支援することにより、生徒の自主性、意欲の向上、集団としての規律等の社会性を育てる。

【事業の概要】

◆クラブ活動推進事業　12,420 千円

○報償費　激励費　35 千円

部活動において大会等（北信越中学校総合競技大会、全国中学校体育大会等）に出場する生徒および指導者に対する経費の一部を支給する。

・北陸アンサンブルコンテスト（ハーモニーホールふくい）　35 千円

○委託料　中学校クラブ活動競技力向上委託料　9,975 千円

部活動の競技力を向上を図るため、強化練習会等競技力の向上を目的とする事業を各中学校に委託する。

・三国中学校　1,905 千円
・丸岡中学校　2,297 千円
・丸岡南中学校　980 千円
・春江中学校　2,858 千円
・坂井中学校　1,935 千円

○備品購入費　吹奏楽部楽器購入費　2,410 千円

・三国中学校（クラリネット）
・丸岡中学校（ホルン、エレキベース）
・丸岡南中学校（アルトサックス、トロンボーン）
・春江中学校（ファゴット）

◆地域スポーツ指導者配置事業　947 千円

【実施校】　市内5中学校15人

【負担割合】　県 1/3 市 2/3

○報償費　指導謝礼　920 千円
○役務費　傷害保険料　27 千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	中学校教育振興事業						決算書 P. 205	
中事業	16	クラブ活動推進事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

…【前頁より】

◆部活動指導員配置事業　2,570 千円
【実施校】　市内4中学校（三国中、丸岡南中、春江中、坂井中）11人
【負担割合】　国 1/3 県 1/3 市 1/3
　〇報酬　会計年度任用職員報酬　2,546 千円
　〇旅費　費用弁償　24 千円

【事業の実績等】

	R2実績	R元実績
地域スポーツ指導者数	１５人	１７人
部活動指導員数	１１人	１１人

【事業の成果と改善点等】
新型コロナウイルス感染症の影響のため、ほとんどの競技大会やコンクールが中止となったが、クラブ活動の環境が整備されたことにより、生徒の技術力・競技力が向上し、生徒の更なる意欲向上につなげることができている。
教員の働き方改革の対策の一つとして、また、生徒のスポーツ活動における技術力向上のため、外部指導者を配置した。

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	051	生徒就学援助事業						決算書 P. 205	
中事業	01	生徒就学援助事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額 当初	決算額	不用額
35,000 千円	20,908 千円	14,092 千円
前年度 38,000 千円	28,591 千円	9,409 千円

主な特定財源			
国庫支出金	特別支援教育就学奨励費補助金	786	千円
国庫支出金	要保護児童生徒援助費補助金	11	千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】
学校教育法第１９条の規定に基づき、経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。

【事業の概要】
経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、給食費・学用品費・新入学用品費・修学旅行費・校外活動費・通学費等、学校生活に必要な経費の一部を援助する。

〇扶助費
　特別支援教育就学援助費　1,571 千円
　要・準要保護生徒就学援助費　19,337 千円

【事業の成果と改善点等】
就学援助を必要とする生徒に対して、申請に基づき審査認定し、適正な援助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。
要・準要保護児童就学援助費については、国の基準単価に基づき援助をしている。新入学の準備に必要な費用を援助するため、新入学用品準備金の早期支給を実施した。

【事業の実績等】

	R2実績	R元実績	増減
特別支援教育就学援助人数	43人	34人	9人
要・準要保護生徒就学援助人数	238人	226人	12人

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	101	中学校通学支援事業						決算書 P. 205	
中事業	01	中学校通学支援事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初 補4 補12	決算額	不用額
	78,222 千円	74,633 千円	3,589 千円
前年度	60,222 千円	56,548 千円	3,674 千円

主な特定財源			
国庫支出金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	21,679	千円
諸収入	雑入（スクールバス利用者協力金）	5,362	千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市内の中学校に通学する生徒に統一した支援を行うため、学校からの一定距離以上の地区を対象にスクールバスを運行し、遠距離通学の解消と、より安全、安心な通学の確保を図る。

【事業の概要】

通学距離が一定の基準を超える通学者に対して、スクールバスの委託運行や路線バス利用料金の補助を行う。

区分	
全学年	学校からの距離が、概ね4.0km以上の地区 （冬期間（12月～2月）は3.0km以上の地区）

○委託料 71,564 千円

・スクールバス運行　三国地区（通年３台・冬期５台）増便2台
丸岡地区（通年１台・冬期２台）増便2台
春江地区（冬期３台）増便1台
坂井地区（通年１台・冬期３台）増便1台

○補助金（通学バス運行支援事業補助金）　丸岡南中学校区　3,069 千円

【事業の成果と改善点等】

通学距離が一定の基準を超える生徒を対象に、スクールバスの委託運行や通学費の補助を行うことにより、遠距離通学の解消と安全、安心な通学を確保することができた。第2子以降の負担金を無償化し、多子世帯の経済的負担の軽減を行った。

新型コロナウイルス感染症対策のため、スクールバスのバス形状の大型化や便数を増便し、バス内が密集しないようにした。

【事業の実績等】

	R2実績	R元実績	増減
バス利用者数	588人	611人	△23人

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業						決算書 P. 225	
中事業	01	学校給食管理事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初 補12	決算額	不用額
	62,449 千円	51,356 千円	11,093 千円
前年度	98,387 千円	77,152 千円	21,235 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】

○給料 42,837 千円
丸岡地区自校調理場調理師　9 名
春江坂井学校給食センター調理師　20 名

○職員手当等 8,519 千円

【事業の成果と改善点等】

新型コロナウイルス感染症対策のため学校が臨時休校したことにより、給食の実施回数が例年より少なくなったが、給食提供にあたっては、安全で安心な給食の提供のため、会計年度任用職員の確保等、安定した調理体制の確立を図った。

新型コロナウイルス感染症の影響により、栄養士や給食調理員を対象とした研修は実施できなかったが、調理場の衛生管理等の向上に努めた。

さらに、地産地消を推進するために、県の事業で若狭牛を使用した給食を全小中学校で提供した。また、給食を通じて地域の食材（らっきょう）についての学習を行った。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業						決算書 P. 227	
中事業	16	丸岡学校給食管理事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初	決算額	不用額
	237,492 千円	202,817 千円	34,675 千円
前年度	235,437 千円	202,249 千円	33,188 千円

主な特定財源			
国庫支出金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	32,848 千円	
諸収入	雑入（小学校給食負担金）	61,581 千円	
諸収入	雑入（中学校給食負担金）	34,469 千円	
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】

◆丸岡学校給食管理事業　本庁　7,512 千円

○旅費	普通旅費	4 千円
○需用費	消耗品費（給食衛生用、給食用食器）	2,097 千円
	修繕料（給食用器具等）	1,520 千円
	賄材料費（コシヒカリ給食推進事業）	188 千円
○役務費	検査手数料（食材・調理師腸内細菌検査）	1,021 千円
○委託料	調理場内害虫駆除委託料	712 千円
○備品購入費	給食用備品購入費	1,970 千円

◆丸岡学校給食管理事業　丸岡　195,305 千円

自校式5校1園（平章小・長畝小・高椋小・磯部小・明章小・高椋幼）

○需用費	消耗品費（給食用消耗品費他）	1,782 千円
	光熱水費（ガス）	6,238 千円
	賄材料費（給食材料費および牛乳代）	84,762 千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業						決算書 P. 227	
中事業	16	丸岡学校給食管理事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

…【前頁より】

民間委託3校（丸岡中・丸岡南中・鳴鹿小）

○需用費	消耗品費（給食用消耗品費）	95 千円
	賄材料費（給食材料費および牛乳代）	10,303 千円
○委託料	学校給食調理業務等委託料	92,125 千円

- Cネットふくい委託分（鳴鹿小）　10,062 千円
- Cネットふくい委託分（丸岡南中）　36,395 千円
- （有）ランチサービス委託分（丸岡中）　45,668 千円

給食の状況	給食人員（日）	給食延数
	2,874人	517,714食

【事業の成果と改善点等】

令和２年３月から５月までの３か月間にわたる学校休校期間の家庭の食費負担分を軽減するため、学校給食費を３か月間（６～８月）無料化し、児童生徒の家庭の経済的な負担の軽減に寄与した。

丸岡の学校給食については、自校式および調理業務委託により実施し、学校給食衛生管理基準に基づき適正な衛生管理に努めた。

【事業の実績等】

地場産（県産）食材使用率（実績）	R2	R元
	42.6%	62.3%

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業						決算書 P. 225	
中事業	06	三国学校給食管理事業						所管部局	教育委員会事務局 三国学校給食センター

予算額	当初	決算額	不用額
	299,274 千円	283,148 千円	16,126 千円
前年度	140,643 千円	123,958 千円	16,685 千円

主な特定財源			
国庫支出金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	25,231 千円	
諸収入	雑入（小学校給食負担金）	58,929 千円	
諸収入	雑入（中学校給食負担金）	20,339 千円	
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】

中学校１校（三国）、小学校９校（三国南・三国北・雄島・加戸・三国西・大石・大関・兵庫・木部）、幼保園等４園（みくに未来・加戸・三国南・雄島）の計１４施設に給食を提供する。一般食の他に月齢に合わせた離乳食やアレルギー対応食を実施。また、新鮮な地元農産物を給食材料として使用し、地産地消を推進するとともに安全安心な学校給食を提供する。

なお、幼保園、こども園分に係る費用については保育園費にて対応している。

○需用費　146,652 千円

消耗品費（事務用、施設管理用、給食用等）	1,788 千円
燃料費（ガソリン）	36 千円
光熱水費（電気、ガス、水道）	29,275 千円
修繕料（給食用備品、施設等）	185 千円
賄材料費（給食材料費）	115,368 千円

給食の状況	給食人員		給食延数
	小中学校	2,403人	425,418食
	幼保園等	448人	106,927食
合計		2,851人	532,345食

○役務費　703 千円

通信運搬費（電話料）	187 千円
手数料（専用水道検査、細菌検査、異物検査等）	354 千円
火災保険料	147 千円
自動車保険料	15 千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業						決算書 P. 225	
中事業	06	三国学校給食管理事業						所管部局	教育委員会事務局 三国学校給食センター

…【前頁より】

○委託料　135,579 千円

害虫駆除委託料	220 千円
警備保障委託料	211 千円
施設保守点検委託料（排水処理施設）	789 千円
受水槽管理委託料	198 千円
消防設備保守点検委託料	561 千円
電気工作物保守点検委託料	542 千円
コピー機保守点検委託料	39 千円
栄養管理システム保守委託料	79 千円
給食配送業務委託料	30,098 千円
ボイラー保守点検委託料（ボイラー、貯湯槽等）	968 千円
給食調理業務委託料	101,838 千円
廃棄物処理業務委託料（PCB）	36 千円

○使用料及び賃借料　214 千円

CATV利用料	34 千円
放送受信料	15 千円
コピー機リース料	165 千円

【事業の成果と改善点等】

令和２年３月から５月までの３か月間にわたる学校休校期間の家庭の食費負担分を軽減するため、学校給食費を３か月間（６～８月）無料化し、児童生徒の家庭の経済的な負担の軽減に寄与した。

調理業務等を民間に委託したことにより、人員の調整など柔軟でスムーズな対応をとることができた。また、食育の取組として、献立表に地場産の食材に関して記載するなど情報の提供による知識の醸成を図った。

今後も、地元産食材を使用した新しい献立なども積極的に取り入れ、安全安心な給食の提供を行っていく。

【事業の実績等】

地場産（県産）食材使用率（実績）	R2	R元
	48.6 %	60.7 %

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業						決算書 P. 225	
中事業	11	春江坂井学校給食管理事業						所管部局	教育委員会事務局 春江坂井学校給食センター

予算額	当初	決算額	不用額
	247,469 千円	228,204 千円	19,265 千円
前年度	278,757 千円	257,879 千円	20,878 千円

主な特定財源			
国庫支出金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	33,216 千円	
諸収入	雑入（小学校給食負担金）	55,754 千円	
諸収入	雑入（中学校給食負担金）	45,043 千円	
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】

中学校2校（春江・坂井）、小学校4校（春江・春江西・春江東・東十郷）、幼保園2園（春江・春江東）の計８施設に給食を提供する。

○需用費　195,506千円

消耗品費	4,326千円
燃料費	22千円
光熱水費	31,167千円
修繕料	2,132千円
賄材料費	157,857千円
医薬材料費	2千円

給食の状況	給食人員		給食延数
	小中学校	2,944人	527,708食
	幼保園	167人	29,435食
合計		3,111人	557,143食

○役務費　2,145千円

通信運搬費	220千円
手数料	1,753千円
火災保険料	156千円
自動車保険料	16千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業						決算書 P. 225	
中事業	11	春江坂井学校給食管理事業						所管部局	教育委員会事務局 春江坂井学校給食センター

…【前頁より】

○委託料　29,742千円

エレベーター保守点検委託料	660千円
害虫駆除委託料	220千円
空調設備保守点検委託料	44千円
警備保障委託料	46千円
施設保守点検委託料	4,906千円
受水槽管理委託料	220千円
消防設備保守点検委託料	407千円
電気工作物保守点検委託料	599千円
電算機器保守点検委託料	79千円
コピー機保守点検委託料	80千円
配送業務委託料	21,236千円
一般廃棄物収集委託料	242千円
ボイラー保守点検委託料	739千円
調理機器点検委託料	264千円

○使用料及び賃借料　206千円

放送受信料	14千円
コピー機リース料	122千円
デマンド監視システム使用料	70千円

○備品購入費　605千円

施設用備品購入費	218千円
給食用備品購入費	387千円

【事業の成果と改善点等】

令和２年３月から５月までの３か月間にわたる学校休校期間の家庭の食費負担分を軽減するため、学校給食費を３か月間（６～８月）無料化し、児童生徒の家庭の経済的な負担の軽減に寄与した。

給食の食材については、地元業者や地場産を中心とした安全・安心な食材を取り入れ、おいしく栄養バランスのとれた学校給食の提供を図った。

今後も地元の食材を献立に取り入れながら、食育および地場産食材使用率の向上に努める。

【事業の実績等】

地場産（県産）食材使用率（実績）	R2	R元
	50.3 %	69.5 %

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
大事業	051	社会教育事業						決算書 P. 207	
中事業	01	社会教育事務事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初 流用	決算額	不用額
	12,023 千円	10,686 千円	1,337 千円
前年度	10,733 千円	10,018 千円	715 千円

主な特定財源	県支出金	人権問題社会教育指導員設置費補助金	216 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	△61 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

社会教育法に基づく社会教育委員の会を設置し、社会教育行政全般における調査および審議を通して答申・建議を行うとともに、社会教育指導員を各地区に配置し、地域の課題や市民の要望を反映した社会教育の振興を図る。また、生涯学習講演会を開催し、より高い文化の創造を図る。

【事業の概要】

社会教育法に基づく社会教育委員の設置・運営

○報酬	社会教育委員15名		510千円
	会計年度任用職員報酬５名		8,059千円
○職員手当	会計年度任用職員期末手当５名		1,302千円
○旅費	会計年度任用職員通勤手当・自家用車借上料		185千円
○需用費			33千円
	消耗品費	7千円	
	食糧費	4千円	
	印刷製本費	22千円	
	・生涯学習・スポーツ報告書	22千円	
○委託料	生涯学習講演会業務委託料		540千円
○負担金			57千円
	県社会教育委員連絡協議会負担金	42千円	
	県社会教育連絡協議会会費	15千円	

【事業の成果と改善点等】

社会教育委員の会を年４回開催し、各種研修会にも参加した。また、合宿通学事業の実行委員として事業視察を行った。生涯学習講演会では、昨年に引き続き、俳人夏井いつき氏による「親子句会ライブ」を開催し、市内在住の小中学生親子約180名の参加があった。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
大事業	051	社会教育事業						決算書 P. 207	
中事業	06	社会教育団体補助事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決算額	不用額
	1,840 千円	1,560 千円	280 千円
前年度	1,840 千円	1,840 千円	0 千円

主な特定財源			千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

補助金の交付により社会教育団体の育成と活動の促進を図る。

【事業の概要】

○補助金			1,560千円
坂井市PTA連合会事業補助金		201千円	
青少年育成団体運営補助金		240千円	
・ボーイスカウト第5団	70千円		
・ガールスカウト第17団	70千円		
・ガールスカウト第20団	70千円		
・三国海洋少年団	30千円		
坂井市かるた協会事業補助金		119千円	
坂井市女性の会運営補助金		1,000千円	

【事業の成果と改善点等】

地域社会の活力向上や、社会教育活動を通した市民の交流、青少年の健全育成等を行う社会教育団体の活動・運営を支援し、組織の育成を図った。なお、各団体には、自己財源の確保等による補助金割合の適正化を促しており、今後も自主運営力を高める必要がある。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
大事業	151	市民運動推進事業						決算書 P. 207	
中事業	01	市民運動推進事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決算額	不用額
	416 千円	340 千円	76 千円
前年度	416 千円	416 千円	0 千円

主な特定財源			
			千円 千円 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市民自らの創意による様々な実践活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいふるさとづくりの推進を図る。

【事業の概要】

〇負担金　340千円

坂井市民運動推進協議会負担金

第15回坂井市花壇コンクール

審査日　8月24日（月）　三国地区・広域
　　8月25日（火）　坂井地区・丸岡地区
　　8月26日（水）　春江地区
場　所　市内の花壇
参加数　45地区団体

坂井市ふるさとづくり大会

期　日　12月4日（金）
場　所　高椋コミュニティセンター　古城ホール
内　容　坂井市市民運動実践者表彰
　　ふるさと納税プレゼン発表

【事業の成果と改善点等】

坂井市民運動推進協議会による「坂井市ふるさとづくり大会」を開催し、より一層豊かで明るく、住みたくなるまちづくりを目指して市民運動への意識向上と推進を図った。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	国際交流推進費
大事業	001	国際交流推進事業						決算書 P. 207	
中事業	01	国際交流推進事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初　補9	決算額	不用額
	700 千円	177 千円	523 千円
前年度	13,071 千円	3,787 千円	9,284 千円

主な特定財源			
			千円 千円 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市内中学校生徒の英国への派遣と英国からの生徒の坂井市招へいを実施し、相互のホームステイや授業参加などを通して、国際化時代に対応できる人材を育成する。

また、中学1年生を対象とする英国派遣団の事前研修体験イベントや、市内中学生を対象に国際交流イベントを開催し、より多くの生徒に国際交流の機会を提供する。

【事業の概要】

※英国招へい事業・英国派遣事業は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

・令和元年度英国派遣団解団イベント
〈日程〉　8月8日（土）
〈参加人数〉　令和元年度英国派遣団　26名（男子10人、女子16人）
・PENPAL2020
〈日程〉　10月17日（土）、12月19日（土）、2月13日（土）
〈参加人数〉　市内中学校1・2年生 65名（男子13人、女子52人）
・Halloween Sakai
〈日程〉　10月31日（土）
〈参加人数〉　市内中学校の1・2年生　11名（男子2人、女子9人）

〇報償費　指導謝礼（県内ALT）　84千円
〇需用費　消耗品費、食糧費　82千円
〇役務費　通信運搬費　11千円

【事業の成果と改善点等】

新型コロナウイルス感染症の影響により、英国招聘および派遣事業は中止としたが、代替事業として、文通を通した国際交流PENPAL2020を行った。今後も渡航を伴わない場合、国際交流をどう進めるかが課題である。

また、国際交流イベントでは、ALTとともにハロウィンにちなんだ活動を行い、中学校の枠を超えて国際交流の推進を図った。市内青少年に広く国際交流の機会を提供するため、参加者数増員が今後の課題である。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業						決算書 P. 207	
中事業	01	子ども会育成事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決算額	不用額
	2,144 千円	1,075 千円	1,069 千円
前年度	2,142 千円	2,140 千円	2 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

幼少年期から、家族や先生以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした様々な活動体験を通して子どもたちを健やかに育てていくとともに、青少年のリーダーとなる人材を育成する。

【事業の概要】

○負担金　157千円
- 福井県子ども会育成連合会負担金　67千円
- 坂井地区子ども会育成連絡協議会負担金　90千円

○補助金　918千円
- 坂井市子ども会育成連絡協議会運営補助金

ジュニアリーダーズクラブ活動日数（重複含む）

	令和2年度
依　頼	18日
例　会	62日
自主企画	3日
研　修	0日
合　計	83日

【事業の成果と改善点等】

青少年のリーダー育成を目的に、市子連協議会を事業主体として、子ども会活動の支援や組織の育成を図った。新型コロナウイルス感染症の影響のため、チャレンジランキング大会やディスクドッヂ大会が中止となったが、壁新聞コンクールは個人単位の作成として実施し、15作品の応募があった。また、ジュニアリーダーズクラブは例年より依頼日は減ったが、継続して学校や子ども会などの依頼対応を行い、活動の幅を広げ、ジュニアリーダー数の増員を図るため、自主企画を行った。イベントや大会ができない場合、どのように子ども会活動を継続するかが今後の課題である。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業						決算書 P. 207	
中事業	06	成人式事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初　流用	決算額	不用額
	3,866 千円	3,775 千円	91 千円
前年度	1,337 千円	1,183 千円	154 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円
予算流用(増減)額	566 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

新成人の門出を祝福するとともに、一人ひとりが成人したことを自覚し、これから社会の中で自主的・協力的に行動するよう激励する。

【事業の概要】

〈期　日〉　3月21日（日）　第1部　午後0時30分～　第2部　午後3時00分～
第1部　三国・春江　　第2部　丸岡・坂井
〈会　場〉　ハートピア春江
〈対象者〉　新成人1,010人
〈参加者〉　新成人772名（男性393人、女性379人　出席率76.5%）

○報償費　1,081千円
- 成人式実行委員等謝礼　95千円
- 記念品等（エコバック）　763千円
- 出演者謝礼　223千円

○需用費　220千円
- 消耗品費　95千円
- 食糧費　47千円
- 印刷製本費　78千円

○役務費　通信運搬費・手数料・筆耕翻訳料　160千円
○委託料　会場設営等業務委託料・音響照明設備調整操作　2,294千円
○使用料　会場使用料　20千円

【事業の成果と改善点等】

令和2年度は1月10日（日）に三国体育館と丸岡体育館の2会場同時開催予定であったが、大雪の影響により、3月21日（日）に延期となった。また、リニューアルしたハートピア春江で2部構成での開催となった。新成人による実行委員会が企画した内容で運営することで、一人ひとりが活躍し、新しい時代を育むという決意を新たにするきっかけとなった。

【事業の実績等】

	R2	R元
成人式出席率	76.5%	78.6%

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業						決算書 P. 209	
中事業	11	わんぱく少年団事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額 当初	決算額	不用額
462 千円	329 千円	133 千円
前年度 462 千円	436 千円	26 千円

主な特定財源			
諸収入	雑入（わんぱく少年団参加者負担金）	64 千円	
		千円	
		千円	
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

自然の中で行う様々な体験を通じて、仲間との協力の大切さを学ぶとともに自立心の向上を図り、人との関わりや今後の人生をより豊かに過ごせるような積極性を身につけることを目的とする。

【事業の概要】

〈名　称〉　「2020 SAKAIわんぱく少年団」
〈対象者〉　坂井市内小学校5・6年生32人
〈実施期間〉　学校週休日（9月～3月）
〈実施回数〉　8回
〈実施内容〉　結団式、トレッキング、ミステリーウオークラリー、わんぱく大運動会、eスポーツ対決、ウインターキャンプ、磯観察＆SUP体験、修了式

○報償費	協力者謝礼		30千円
○需用費			212千円
	消耗品費	91千円	
	食糧費	121千円	
○役務費	傷害保険料		27千円
○使用料			60千円
	施設使用料	1千円	
	体験学習使用料	59千円	

【事業の成果と改善点等】

市の豊かな自然にあらゆる体験活動を通して触れ合うことで、子どもたちのふるさと坂井市を大切にする健やかな心身を育むことができた。今年度は、心身を鍛えるトレッキングを実施し内容の充実を図った。今後も、子どもたちができるだけ多く参加できるような実施時期の調整や、参加したくなるような魅力ある内容の充実に努めていく。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業						決算書 P. 209	
中事業	16	青少年育成坂井市民会議事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額 当初	決算額	不用額
2,670 千円	2,623 千円	47 千円
前年度 2,126 千円	2,126 千円	0 千円

主な特定財源			
繰入金	寄附市民参画基金繰入金	543 千円	
		千円	
		千円	
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

近年の青少年を取り巻く環境に鑑み、広く市民の総意を結集して「青少年育成坂井市民会議」を組織し、次代を担う青少年の健全な育成を図る。

【事業の概要】

青少年育成坂井市民会議の主な活動

期日	事業名	場所
	青少年育成坂井市民会議総会	書面決議
5月18日（月）	第１回理事会	市役所会議室
7月20日（月）	第１回支部長会議	東十郷コミセン
9月16日（水）	第２回理事会	東十郷コミセン
10月30日（金）	第３回理事会	東十郷コミセン
11月 7日（土）	一斉街頭啓発キャンペーン	アミ、ピアゴ
12月 4日（金）	坂井市青少年健全育成推進大会	高椋古城ホール
3月15日（月）	第４回理事会	東十郷コミセン

○需用費	いきいき見守り隊被服費 ・帽子、ベスト、犬用ベスト	543千円
○補助金	青少年育成坂井市民会議運営補助金	2,080千円

【事業の成果と改善点等】

青少年が健全に成長していく環境づくりや、青少年の健全な心を育てることに貢献することができた。青少年健全育成推進大会は、市民運動および花壇コンクール表彰と合同で行い、ふるさと納税についての講演をお笑い芸人と担当職員のコントを交えて上演し、多くの来場者に興味をもってもらえた。見守り隊準会員「いきいき見守り隊」募集を開始した。市民の普段の生活の中で気軽に見守り・防犯に取り組めることで会員数を増やし、安心安全な環境づくりを目指す。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業						決算書 P. 209	
中事業	21	放課後子ども教室推進事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決算額	不用額
	4,000 千円	2,300 千円	1,700 千円
前年度	4,000 千円	3,661 千円	339 千円

主な特定財源	県支出金	放課後子ども教室推進事業補助金	745 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

地域づくりとコミュニティの拠点であるコミュニティセンターにおいて放課後子ども教室を実施し、子どもたちにとって多様で有意義な学習・体験の機会を提供する。

【事業の概要】

コミュニティセンターで、学習アドバイザーや安全管理員など、学校・家庭・地域の連携協力推進事業の一部として、地域の方々の協力を得て実施する。各地域の実情に合わせながら、書道やお菓子作り、読書感想文教室など長期休暇の宿題を中心とした教室や、生け花教室、三味線教室、英語教室などを定期的に開催し、子どもたちが学べる多様な機会を提供する。

○委託料　放課後子ども教室実施委託料　2,300千円
（24教室・参加者延べ4,730人・開催日数合計508日）

【事業の成果と改善点等】

地域のボランティアの協力のもと、子どもたちの居場所を確保しながら、地域の資源や特徴に応じた様々な学習・体験を提供することができた。今後も子どもたちの安全・安心な居場所づくりを行う。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業						決算書 P. 209	
中事業	26	合宿通学事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初　流用	決算額	不用額
	1,285 千円	330 千円	955 千円
前年度	1,718 千円	1,367 千円	351 千円

主な特定財源			千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	△215 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

コミュニティセンターに２泊３日または３泊４日で宿泊し、自分の身の回りのことはすべて自分で行いながら自立心を育むとともに、日常生活における家族の苦労や愛情の深さに気付き、感謝する気持ちを養う。

【事業の概要】

期間	場所	対象者	参加人数
10月23日（金）～24日（土）	加戸小学校体育館	加戸小学校６年生	36名
11月 6日（金）～ 7日（土）	春江西小学校体育館	春江西小学校５年生	27名
11月13日（金）～14日（土）	大関小学校体育館	大関小学校６年生	11名
11月20日（金）～21日（土）	平章小学校体育館	平章小学校５年生	11名
合計			85名

○委託料　合宿通学事業業務委託料　331千円

【事業の成果と改善点等】

コロナ禍の中で、今年度は「防災合宿」をテーマに実施した。児童が小学校に開設された避難所で１泊する想定で、段ボールベッドや災害用テントの組立、防災学習や非常食調理体験など、教育カリキュラムの中で学習する防災教育を応用し実際に体験してもらうことができた。防災合宿を通して、通常の合宿通学の目的である「家庭を離れて、身の回りのことは自分でしながら友達と協力する」ことに加え、入浴もしないことで家庭のありがたさや日常の便利さも痛感できた。今後は防災合宿を地域主体で実施できるよう普及していく。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業						決算書 P. 209	
中事業	31	坂井・延岡ジュニア交流事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初 流用	決算額	不用額
	349 千円	19 千円	330 千円
前年度	1,440 千円	1,316 千円	124 千円
主な特定財源			千円 千円 千円
予算流用(増減)額	△ 351 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

宮崎県延岡市と坂井市の姉妹都市交流事業の一環として、小学校児童を対象に両市の名所旧跡を学習することを通じて人的交流を図り、将来的に両市の縁を強めていくことを目的とする。

【事業の概要】

1年ごとに坂井市と延岡市を相互に訪問し交流を行っている。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で延岡市から坂井市への招聘が中止になったため、延岡市の子どもたちに坂井市の魅力を伝える映像制作するイベントを実施した。

〈期　間〉　8月6日（木）～7日（金）　2日間
〈参加者〉　令和元年坂井延岡ジュニア交流隊の団員5名
〈協　力〉　そば打ち講師3名、坂井市専属住みます芸人

○報償費	協力者謝礼		10千円
○需用費			6千円
	消耗品費	1千円	
	食糧費	5千円	
○役務費			3千円
	通信運搬費	2千円	
	傷害保険	1千円	

【事業の成果と改善点等】

令和元年度に坂井・延岡ジュニア交流事業に参加した子どもたちが坂井市を紹介する映像制作に意欲的に取り組んだ。制作した映像はDVDにして参加した子どもたちと延岡市に送付し、坂井市の魅力の発信を図ることができた。

坂井市と延岡市の子どもたちの交流について、状況に応じた交流ができるよう検討していく必要がある。

	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	051	心の家庭教育支援事業						決算書 P. 209	
中事業	01	心の家庭教育支援事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決算額	不用額
	1,500 千円	926 千円	574 千円
前年度	1,514 千円	1,507 千円	7 千円
主な特定財源			千円 千円 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

家庭の教育力の向上を図るため、現在子育て中の保護者が子育てに関する情報や学習機会を得られるよう支援体制を作り、地域全体で家庭教育を支えていく基盤の形成を促進する。

【事業の概要】

・子育て講座

小学校を中心に多くの保護者が集まる機会（就学時健診時等）を活用して、家庭教育についての学習機会を提供した。（4校）

・家庭教育支援チーム

元教員、元保育士・子育て経験者などで坂井市家庭教育支援チームを結成し、子ども相談室や保護者相談などを通して家庭教育の支援を行った。

・広報誌の発行

子育てに関する情報やアドバイスなどを掲載した広報誌「ほやほや」を年5回発行した。

○報償費			817千円
	子育て講座講師謝礼	40千円	
	家庭教育支援チーム員手当（36名）	777千円	
○需用費			80千円
	消耗品費	71千円	
	食糧費	9千円	
○役務費			29千円
	家庭教育支援チーム員傷害保険料		

【事業の成果と改善点等】

新型コロナウイルス感染症の影響により、学校訪問を見合わせるなど活動の幅が狭まったが、テレビ番組出演や広報誌を通じて積極的に活動のPRを行った。各地区の支援スタイルも確立され、市内小学校での子ども相談室では、子どもたちとの信頼関係を育みながら活動している。また、外部講師による研修を2回行い、支援員の相談対応技術力向上を図った。今後も継続し、支援員のスキルアップを図っていく。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	06	青少年愛護センター費
大事業	001	愛護センター事業						決算書 P. 209	
中事業	01	愛護センター事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初 流用	決算額	不用額
	11,873 千円	10,661 千円	1,212 千円
前年度	10,778 千円	10,184 千円	594 千円

主な特定財源	県支出金	青少年愛護センター運営費補助金	370 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	61 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

青少年の健全な育成を阻害するおそれのある行為を、補導活動等により防止することで、青少年の健全育成を図る。

【事業の概要】

○報酬	会計年度任用職員（パートタイム）報酬３名		4,989千円
○給料	会計年度任用職員（フルタイム）給料１名		1,976千円
○職員手当	会計年度任用職員通勤（フルタイム）		54千円
	会計年度任用職員期末手当４名		1,177千円
○報償費	一般補導員手当		920千円
○旅費	会計年度任用職員（パートタイム）通勤手当３名		160千円
○需用費			648千円
	消耗品費（事務・定期刊行物・公用車用）	130千円	
	（啓発用消耗品）	62千円	
	燃料費	378千円	
	食糧費	7千円	
	修繕料	71千円	
○役務費			79千円
	手数料	30千円	
	自動車保険料	49千円	
○委託料			239千円
	エンゼルロード警備保障委託	185千円	
	コピー機保守点検委託	54千円	
○使用料及び賃借料			128千円
	有料道路通行料	5千円	
	コピー機リース料等	123千円	
○工事請負費	電話回線等工事		284千円
○公課費	自動車重量税		7千円

【事業の成果と改善点等】

一般補導員321名による補導活動をはじめ各自治区懇談会や合同巡回街頭補導を実施した。今後も各関係機関と連携した補導体制の充実を図っていく。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
大事業	051	スポーツ推進委員運営事業						決算書 P. 223	
中事業	01	スポーツ推進委員運営事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決算額	不用額
	2,313 千円	1,892 千円	421 千円
前年度	1,846 千円	1,747 千円	99 千円

主な特定財源			千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

スポーツ推進委員により、スポーツ活動の推進やスポーツイベントへの協力を行い、市のスポーツ振興を図る。地域のスポーツの推進役として市民のスポーツニーズを把握し、市民が自主的なスポーツ活動を生涯にわたり継続して行うことができるようサポートする。

【事業の概要】

- 派遣指導（マリン体操の普及推進、出前ニュースポーツ講座）4回/年
- 各種大会への協力　坂井市古城マラソン大会、坂井市民スポーツ祭他
- 会議等の開催　全体会1回、部会等13回

○報酬			1,216千円
	スポーツ推進委員報酬（@32千円×38人）		
○需用費			535千円
	被服費	493千円	
	定期刊行物購読料	6千円	
	資料購入代	5千円	
	啓発用消耗品費	31千円	
○役務費	傷害保険料		67千円
○使用料	有料道路通行料		9千円
○負担金			65千円
	県スポーツ推進委員協議会負担金	19千円	
	県スポーツ推進委員協議会会費	46千円	

【事業の成果と改善点等】

新型コロナウイルス感染症の影響で、派遣指導が減少し、スポーツイベントが中止となったが、後半はハピネスフェスティバルの協力やマリン体操およびラジオ体操指導などを実施した。

今後は、派遣指導のほか、チラシ配布やSNSを活用した広報などに力を入れ、スポーツを通して市民の健康づくりに貢献できる取り組みを実施していきたい。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
大事業	101	保健体育事業						決算書 P. 223	
中事業	01	保健体育事務事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決算額	不用額
	530 千円	443 千円	87 千円
前年度	536 千円	224 千円	312 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

スポーツ振興の充実を図るための事業を行う。スポーツ推進審議会では、スポーツ推進に関する重要事項について調査および審議を通して建議を行う。

また、各種スポーツ協議会に対し負担金助成を行う。

【事業の概要】

○報酬　112千円

スポーツ推進審議会委員報酬（@14千円×8人）

○需用費　327千円

スポーツ推進計画およびスポーツ施設マネジメント計画印刷費

○負担金　4千円

県体育施設協会負担金

【事業の成果と改善点等】

坂井市スポーツ振興基本計画に基づき、保健体育事務事業を実施した。

また、スポーツ推進審議会を開催し、スポーツ振興基本計画の改定とスポーツ施設マネジメント計画の策定を行った。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大事業	001	スポーツ振興事業						決算書 P. 223	
中事業	01	スポーツ大会運営事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初　補8	決算額	不用額
	4,727 千円	3,591 千円	1,136 千円
前年度	5,739 千円	5,313 千円	426 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

誰もが気軽に参加できるスポーツ活動の場を提供し、市民が生涯にわたって豊かなスポーツライフを楽しめるよう推進するとともに、各種競技大会を支援することにより市のスポーツ振興を図る。

【事業の概要】

坂井市古城マラソン大会（中止）

坂井市民スポーツ祭・ハピネスフェスティバル　9月27日（月）

参加者数　1,166人

スポーツフェスタ・各競技大会・教室

○需用費　64千円

消耗品費　30千円

食糧費　34千円

○委託料　スポーツ大会委託料　2,000千円

坂井市民スポーツ祭

（(公財)坂井市スポーツ協会）

○負担金　1,477千円

坂井市古城マラソン大会負担金

（(公財)坂井市スポーツ協会）

○補助金　50千円

坂井・奥越地区高等学校野球大会運営事業補助金

【事業の成果と改善点等】

各種大会を開催し、スポーツの振興を図った。市民スポーツ祭についてはスポーツの普及とともに市民の健康増進に寄与した。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大事業	001	スポーツ振興事業						決算書 P. 223	
中事業	02	ワールドマスターズゲームズ運営事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初 補12	決算額	不用額
	6,750 千円	5,397 千円	1,353 千円
前年度	1,600 千円	1,595 千円	5 千円

主な特定財源	県支出金	ワールドマスターズゲームズ開催準備経費補助金	1,798 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

世界最大の生涯スポーツの国際総合競技大会「ワールドマスターズゲームズ2021関西」が令和４年度に日本で初めて開催される。坂井市では、オープン競技の「ディスクゴルフ」を開催することが決定しており、福井国体の開催を機に高まったスポーツ振興機運の承継と、世界各国に対する坂井市の知名度向上ならびにインバウンドの拡大を図る。

【事業の概要】

〇負担金（ワールドマスターズゲームズ2021関西坂井市実行委員会負担金）
5,397千円

【事業の成果と改善点等】

令和３年５月の開催に向け、市実行委員会の公式ホームページを整備し、大会の広報や参加者の募集を行い、募集開始二日後には海外からの参加選手が定員195名に達した。

また、まちづくり協議会等団体の行事で、ディスクゴルフ教室を行うなど同競技の普及活動を行った。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、ワールドマスターズゲームズ関西組織委員会の判断により令和４年度に開催が延期となった。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大事業	001	スポーツ振興事業						決算書 P. 223	
中事業	06	スポーツ振興事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初 補9	決算額	不用額
	100,265 千円	90,578 千円	9,687 千円
前年度	94,070 千円	92,270 千円	1,800 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

坂井市民のスポーツ振興に寄与する団体に対し補助金を交付し、競技スポーツ・生涯スポーツの推進、また、スポーツによる青少年の健全育成を目的とする活動を支援する。また、予選を勝ち抜き、全国大会以上の大会に出場する選手・監督を激励することで、市の競技スポーツの振興を図る。

【事業の概要】

〇報償費　全国スポーツ大会出場激励金　845千円
- 国体　０名
- 全国高等学校総合体育大会　０名
- 国際大会　０名
- その他全国大会　７１名

計　７１名　（16大会）

〇需用費　1,936千円
- 消耗品費　66千円
- 修繕料　1,870千円

〇役務費　40千円
- 筆耕翻訳料（スペイン語翻訳・通訳料）

〇補助金　87,757千円
- 坂井市スポーツ協会補助金　81,757千円
- 坂井市スポーツ少年団補助金　4,000千円
- 地域密着型トップスポーツチーム支援事業補助金　2,000千円

【事業の成果と改善点等】

全国大会に出場する選手・監督に対し、大会での活躍を激励することにより、競技スポーツの振興を図ることができた。補助金交付については今後も効率的で効果のある団体運営を推進し、自主運営力を高める必要がある。

東京パラリンピックの事前キャンプを誘致するため、ペルー共和国パラリンピック委員会とメールにて事前交渉を行った。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	体育施設費
大事業	001	体育施設管理事業						決算書 P. 223	
中事業	01	体育施設管理事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初　補7　補9	決算額	不用額
251,627 千円		248,831 千円	2,796 千円
前年度 263,022 千円		262,204 千円	818 千円

主な特定財源			
国庫支出金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	1,482 千円
繰入金	まちづくり整備基金繰入金	20,000 千円
諸収入	雑入（スポーツ振興くじ助成金）	1,114 千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

スポーツ環境の整備充実のため、体育施設の適切な維持管理および運営を促進し、施設の安全性の確保とスポーツ振興および利用の推進を図る。

【事業の概要】

○旅費　特別旅費　8千円
○需用費　218千円
　消耗品費　19千円
　修繕料　199千円
○役務費　火災保険料（公有建物共済分担金）　764千円
○委託料　187,592千円
　三国運動公園樹木等管理委託料　490千円
　Wi-Fi環境整備委託料　2,002千円
　学校開放事業等委託料（(公財)坂井市スポーツ協会）　5,000千円
　坂井市体育施設指定管理委託料　140,000千円
　【指定管理者】　(公財)坂井市スポーツ協会
　【指定管理期間】　平成31年4月1日～令和6年3月31日
　坂井市屋内温水プール・フイットネスセンター指定管理委託料
　【指定管理者】　アクアスポーツ(株)　40,100千円
　【指定管理期間】　平成31年4月1日～令和6年3月31日
○使用料及び賃借料　29,090千円
　土地借上料（体育施設用地借上料）　29,064千円
　施設使用料　26千円
○工事請負費　24,822千円
　三国運動公園園路排水改修工事　715千円
　丸岡運動公園テニス場人工芝張替工事　14,080千円
　三国艇庫消火ポンプ移設・取替工事　2,618千円
　春江北グラウンド公衆トイレ新築工事　2,664千円
　丸岡スポーツランド電光掲示板修繕工事　576千円
　三国運動公園陸上競技場改修工事　4,169千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	体育施設費
大事業	001	体育施設管理事業						決算書 P. 223	
中事業	01	体育施設管理事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

…【前頁より】

○備品購入費　6,287千円
　三国運動公園ディスクゴルフ用ゴール　1,637千円
　自動体外式除細動器　ＡＥＤ　3,168千円
　足踏み式消毒液スタンド　812千円
　清掃用具収納ボックス　670千円
○負担金　30千円
　Ｂ＆Ｇ地域海洋センター連絡協議会負担金
○補償金　20千円
　体育施設周辺補償費

【事業の成果と改善点等】

各体育施設について、修繕を行うなど適正な維持管理に努め、利用者満足度の向上に努めた。今後は、体育施設の老朽化に伴い施設の統廃合を含めた整備の検討が必要である。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業						決算書 P. 211	
中事業	01	文化振興事業						所管部局	教育委員会事務局 文化課

予算額	当初	決算額	不用額
	624 千円	260 千円	364 千円
前年度	7,218 千円	6,720 千円	498 千円

主な特定財源			
			千円 千円 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

文化芸術分野の全国大会以上に出場する市民に対し、大会での活躍を激励するとともに激励金を支給し、本市の文化芸術の向上を図る。また、市民が主体となって活動する「坂井市文化未来会議」を開催し、幅広く市民の意見を求め、市の文化施策推進を図る。

【事業の概要】

○報償費　144千円
- 委員謝礼　99千円
- 全国大会等出場激励金　45千円

○需用費　8千円
- 消耗品費（事務用品）　5千円
- 食糧費　（会議用お茶）　3千円

○使用料及び賃借料　108千円
- 車両借上料・有料道路通行料・入場料
  （文化未来会議視察研修：若狭町）

【事業の成果と改善点等】

令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどの全国大会が中止になったが、全国大会に出場した個人に対して激励金を贈り、大会での活躍を激励した。坂井市文化未来会議では、福井県年縞博物館や国の重要伝統的建造物群に選定されている熊川宿など（若狭町内）を視察し、保存継承に対する取り組みを学んだ。

【事業の実績等】

	実績
全国大会等出場者数	9人

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業						決算書 P. 211	
中事業	06	文化団体補助事業						所管部局	教育委員会事務局 文化課

予算額	当初	決算額	不用額
	126,021 千円	115,114 千円	10,907 千円
前年度	127,130 千円	118,794 千円	8,336 千円

主な特定財源			
			千円 千円 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

地域性豊かな伝統文化の継承と文化活動の振興を図ることを目的に、（公財）丸岡文化財団および（公財）坂井市文化振興事業団、各種文化団体で組織する坂井市文化協会が実施する文化活動事業を支援する。

【事業の概要】

○補助金　115,114千円
- 丸岡文化財団運営補助金　45,762千円
- 坂井市文化協会事業補助金　1,289千円
- 坂井市文化振興事業団運営補助金　68,063千円

【事業の成果と改善点等】

丸岡文化財団が主催する一筆啓上賞は、市を代表する事業として定着している。また、まるおか子供歌舞伎事業は、地域と連携しながら伝統芸能の継承を図っているが、令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響で公演中止となり、歌舞伎公演の中で舞う伴奏（三番叟）の作曲を行った。

坂井市文化協会は、子ども文化祭は中止となったが、ふれあいコンサートや郷土芸能祭などを開催し、様々な文化団体が文化活動に参加できる企画運営を担い、市の文化振興に大いに貢献している。また、恒例の市民文化祭も新型コロナウイルス感染防止対策を行い、継続開催に向けた自己の研鑽と次世代育成・継承に努めた。

坂井市文化振興事業団は、舞台芸術公演の企画運営を始めとする地域団体の活動発表の場を提供するなど、市民の文化意識の向上や次世代育成に対して大きく貢献している。また、子どもミュージカル事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。

【事業の目標値と実績等】

	目標値	実績
一筆啓上応募数	35,000通	52,805通
文化協会会員数	2,050人	1,738人
子どもステージアート入場者数	400人	―

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業						決算書 P. 211	
中事業	11	文化活動支援事業						所管部局	教育委員会事務局 文化課

予算額	当初	決算額	不用額
	15,500 千円	14,497 千円	1,003 千円
前年度	18,200 千円	17,908 千円	292 千円
主な特定財源			千円 千円 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

優れた舞台芸術公演を鑑賞する機会や発表する場を提供することにより、地域の文化芸術水準の向上や活性化を図るとともに、市民の文化活動への積極的な参加を推進する。

【事業の概要】

○委託料　14,497千円
- 文化祭業務委託料（坂井市民文化祭実行委員会）　4,948千円
- 公演業務委託料（坂井市文化振興事業団：21事業）　9,300千円
- 市民文化創造企画支援事業委託料（坂井市文化振興事業団）　249千円

【事業の成果と改善点等】

文化祭事業は実行委員会に委託し、市内４地区の会場それぞれで芸能・展示発表を行い、いずれの会場も盛況であった。今後も、市内の文化ホール等を有効に活用しながら、市民の文化活動の活性化が図られるよう事業に取り組んでいく。

公演事業では、ハートピア春江が大規模改修中のため、みくに未来ホールのみでの開催となった。

支援事業では新型コロナウイルス感染症の影響により、開催できたのは１公演であったが、盛況となった。

【事業の目標値と実績等】

	目標値	実績
文化祭来場者数	10,000人	7,639人
文化祭出演・出展者数	6,300人	6,674人
公演事業入場者数	2,070人	1,787人

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業						決算書 P. 211	
中事業	21	一筆啓上手紙の館管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 文化課

予算額	当初	決算額	不用額
	14,145 千円	14,144 千円	1 千円
前年度	14,155 千円	14,154 千円	1 千円
主な特定財源			千円 千円 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

「手紙の館」の管理運営を担う（公財）丸岡文化財団は、一筆啓上賞の作品を始めとする手紙にまつわる企画等を展開し、丸岡城と連携した文化と観光の充実を図る。

【事業の概要】

- ○報償費　運営審議会委員謝礼（３名）　33千円
- ○役務費　手紙の館火災保険料　111千円
- ○委託料　事業運営委託料（丸岡文化財団）　14,000千円

【事業の成果と改善点等】

丸岡文化財団に「手紙の館」の事業運営を委託し、一筆啓上賞の作品や手紙をテーマにした企画展等を実施している。事業運営については、引き続き運営審議会で検討・助言等を行いながら、丸岡城と連携した地域のにぎわい創出を図っていく。

【事業の目標値と実績等】

	目標値	実績
手紙の館入館者数	50,000人	17,528人
うち共通入場券入館者	40,000人	14,321人

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業						決算書 P. 211	
中事業	02	文化の森・みくに市民センター管理運営事業					所管部局	教育委員会事務局 文化課	

予算額	当初 補7	決算額	不用額
	1,022,070 千円	1,018,959 千円	3,111 千円
前年度	83,801 千円	80,697 千円	3,104 千円

主な特定財源			
国庫支出金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	2,260	千円
市債	合併特例事業債	790,300	千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

利用者の利便性の向上と安全確保を図るため、文化施設の適切な維持管理を行う。

【事業の概要】

◆文化の森・みくに市民センター管理運営事業　53,207千円

- ○需用費　施設等修繕料（ハートピア冷温水配管等修繕）　2,090千円
- ○役務費　237千円
  - 火災保険料　166千円
  - 展示・収蔵資料損害保険料　71千円
- ○委託料　指定管理者委託料　44,800千円
  - 【指定管理者】　坂井市文化振興事業団
  - 【指定管理期間】　平成31年4月1日～令和6年3月31日
- ○賃借料　文化の森敷地借上料（18,875㎡）　3,820千円
- ○備品購入費　施設用備品購入費　2,260千円
  - （非接触式体温測定カメラ、飛沫感染防止板）

◆省エネ対策事業　62千円

- ○使用料　デマンド監視システム使用料　62千円

◆文化の森・YURI文化情報交流館改修整備事業　965,690千円

- ○委託料　監理委託料　17,160千円
- ○工事請負費　施設改修工事費　948,530千円

【事業の成果と改善点等】

ハートピア春江は大規模改修工事を行った。みくに市民センターは施設の適正な維持管理を図った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い、安全安心な施設の運営を行った。市民の文化芸術活動の拠点として、両館の特性を生かしながら、市民の文化意識の向上を目指した施設の運営に取り組んでいく。

【事業の目標値と実績等】

	目標値	実績
みくに市民センター利用者数	18,000 人	10,004 人

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	001	文化財保護審議会運営事業						決算書 P. 213	
中事業	01	文化財保護審議会運営事業					所管部局	教育委員会事務局 文化課	

予算額	当初 流用	決算額	不用額
	234 千円	187 千円	47 千円
前年度	188 千円	188 千円	0 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	1 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

坂井市教育委員会の諮問機関で、文化財の保存および活用に関する重要事項について調査審議し、建議する。

【事業の概要】

- ○報酬　文化財保護審議会委員報酬（8名）　184千円
- ○旅費　文化財保護審議会委員費用弁償　1千円
- ○需用費　食糧費（会議用お茶）　2千円

【事業の成果と改善点等】

市指定文化財（彫刻）1件が県指定文化財となるため、指定を解除した。
指定・登録文化財について、候補の審議を引き続き行う。

【事業の実績等】

	実績
処理議案数	5議案

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業						決算書 P. 213	
中事業	01	文化財保存管理事業						所管部局	教育委員会事務局 文化課

予算額	当初 流用	決算額	不用額
	14,700 千円	12,017 千円	2,683 千円
前年度	18,510 千円	16,988 千円	1,522 千円

主な特定財源			
国庫支出金	文化芸術振興費補助金	3,066 千円	
国庫支出金	文化財管理事業費補助金	117 千円	
		千円	
予算流用(増減)額	△ 115 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

坂井市域に存在する国・県・市の指定を受けた文化財の保存・管理のための必要な措置を講じる。また、広く市民への公開や活用を通して文化財の保存と活用の意識向上を図り、郷土文化の振興に貢献する。

【事業の概要】

◆文化財保存管理事業 6,814千円

- ○報償費 527千円
  - 有識者謝礼（市内指定文化財調査協力謝礼） 22千円
  - 文化財管理奨励金 505千円
- ○旅費（特別旅費） 50千円
- ○需用費 562千円
  - 消耗品費（事務用消耗品・展示用フェルトシート） 34千円
  - 印刷製本費（文化財指定書印刷） 60千円
  - 光熱水費（出世山古墳公園等電気料・上下水道料） 69千円
  - 修繕料（出世山古墳公園防護柵修繕・カメラ修繕） 399千円
- ○役務費 53千円
  - カモシカ処理手数料（2体） 29千円
  - 丸岡城関連施設・出世山古墳公園火災保険料他 24千円
- ○委託料 3,765千円
  - 文化財管理委託料（古墳公園等清掃・草刈等） 3,270千円
  - 燻蒸委託料（丸岡歴史民俗資料館燻蒸） 495千円
- ○賃借料 236千円
  - 出世山古墳公園、銅鐸出土記念碑敷地借上料 146千円
  - 画像編集用パソコンリース料 90千円
- ○工事請負費 781千円
  - 出世山古墳公園車止め設置工事 176千円
  - 文化財説明看板設置工事 605千円
- ○備品購入費 文化財監視用カメラ・会議記録用レコーダー 44千円
- ○負担金 全国史跡整備市町村協議会負担金他2件 65千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業						決算書 P. 213	
中事業	01	文化財保存管理事業						所管部局	教育委員会事務局 文化課

…【前頁より】

- ○補助金 731千円
  - 市指定無形文化財保存活動事業費補助金（5件） 352千円
  - 指定文化財保存事業費補助金（3件） 379千円

◆地域計画作成事業 4,813千円

- ○報償費 211千円
  - 講師謝礼（地域計画フォーラム） 51千円
  - 委員謝礼（地域計画協議会委員） 157千円
  - 協力者謝礼 3千円
- ○需用費 食糧費（協議会賄） 4千円
- ○委託料 坂井市文化財保存活用地域計画作成委託料 4,598千円

◆コウノトリ保護事業 390千円

- ○需用費 消耗品代 37千円
- ○委託料 剥製制作業務委託料 255千円
- ○備品購入費 情報機器購入費 98千円

【事業の成果と改善点等】

令和2年9月に発生した地震で被災した市指定の針原八幡神社石造多層塔の修理等の補助を行った。また、特別天然記念物コウノトリのオスの剥製を作製し、市内施設に展示した。また、出世山古墳公園の緑地維持管理を行うなど、文化財の維持・継承に努めた。

文化財保存活用地域計画を作成するため、協議会運営や把握調査、市民への周知と意見聴取のためワークショップやフォーラムを開催した。次年度は計画本文の完成を目指すとともに市民への周知に努めていく。

【事業の実績等】

	実績
文化財補助金支出件数	8件

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業						決算書 P. 215	
中事業	11	埋蔵文化財発掘調査事業						所管部局	教育委員会事務局 文化課

予算額	当初 補7 流用	決算額	不用額
	6,389 千円	4,792 千円	1,597 千円
前年度	9,124 千円	7,872 千円	1,252 千円

主な特定財源	国庫支出金	埋蔵文化財調査費補助金	1,332 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	127 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整を図るとともに、調査成果を広く公開・活用し、文化財保護意識の向上と啓発を図る。

【事業の概要】

○報酬 1,342千円
- 六呂瀬山古墳群発掘調査・整理作業員報酬（5名・延192名） 1,204千円
- 六呂瀬山古墳群調査整備委員会委員報酬（４名） 138千円

○旅費（費用弁償） 154千円

○需用費 223千円
- 消耗品費（発掘調査・整理作業用具） 200千円
- 燃料費（灯油代） 18千円
- 食糧費（会議用お茶） 2千円
- 印刷製本費（写真現像焼付代） 3千円

○委託料 1,571千円
- 調査委託料（六呂瀬山古墳群出土遺物整理作業） 50千円
- 廃材処分委託料（仮設トイレ汲み取り） 4千円
- 運搬業務委託料（六呂瀬山古墳群埋め戻し用土嚢） 12千円
- 試掘調査掘削委託料（21件） 1,505千円

○使用料及び賃借料 270千円
- 車両借上料・有料道路通行料 79千円
- 発掘調査機材借上料 190千円

○備品購入費（発掘調査用備品） 1,232千円

【事業の成果と改善点等】

埋蔵文化財包蔵地内での工事は年間196件の届出があり、遺跡への影響が懸念される60件は試掘調査、工事立会で対応した。また、今後も継続して、関係機関との円滑な調整を図るとともに、文化財保護に対する認識を高めていく。

【事業の実績等】

	実績
発掘届出件数	196件

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業						決算書 P. 217	
中事業	21	丸岡城関連施設管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 文化課

予算額	当初 流用	決算額	不用額
	3,064 千円	2,900 千円	164 千円
前年度	4,015 千円	3,628 千円	387 千円

主な特定財源			千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	△ 13 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

丸岡城関連施設の管理運営を指定管理者に委託し、施設の円滑かつ現場に即した適切な管理を行い、丸岡城の観光の充実と地域の文化振興を図る。

【事業の概要】

○需用費 100千円
- 施設等修繕料（丸岡城煙感知器修繕）

○役務費 99千円
- 丸岡城関連施設火災保険料 70千円
- 丸岡歴史民俗資料館寄託資料損害保険料 29千円

○委託料 638千円
- 丸岡城周辺樹木剪定・伐採業務委託料

○賃借料 1,371千円
- 丸岡城周辺土地借上料

○負担金 692千円
- 指定管理者修繕料負担金（丸岡城消防設備修繕）

【事業の成果と改善点等】

指定管理者である（公財）丸岡文化財団は、丸岡城周辺の一体的な管理運営を行った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、丸岡城の歴史的価値を広めるため、観光情報の発信と広報宣伝活動に努め、観光面・文化面での賑わい創出を図った。

【事業の目標値と実績等】

	目標値	実績
丸岡城入場者数	140,000人	69,616人

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	09	丸岡城周辺整備基金費
大事業	001	丸岡城周辺整備基金						決算書 P. 229	
中事業	01	丸岡城周辺整備基金						所管部局	教育委員会事務局 文化課

予算額 当初	決算額	不用額
19 千円	19 千円	0 千円
前年度 19 千円	18 千円	1 千円

主な特定財源			
財産収入	城周辺整備基金利子		19 千円
			千円
			千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

丸岡城周辺の整備および丸岡城に関する資料の購入に必要な財源に充てるため、丸岡城周辺整備基金を設置する。

【事業の概要】

丸岡城周辺整備基金に係る運用益等の積立を行う。

○積立金　19千円

城周辺整備基金積立金（預金利息）

（参考）丸岡城周辺整備基金の状況　（単位：千円）

令和元年度末 現在高 ①	令和２年度中増減額 取崩額 ②	積立額 ③	令和２年度末 現在高①-②+③
183,575	0	19	183,594

【事業の成果と改善点等】

預金利子分を積み立て、適切に基金管理を行った。今後も目的に応じた基金の活用に努めていく。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業						決算書 P. 215	
中事業	16	丸岡城国宝化推進事業						所管部局	教育委員会事務局 丸岡城国宝化推進室

予算額 当初	決算額	不用額
38,100 千円	35,836 千円	2,264 千円
前年度 32,475 千円	31,144 千円	1,331 千円

主な特定財源			
国庫支出金	丸岡城耐震診断事業補助金		14,090 千円
県支出金	丸岡城耐震診断事業補助金		4,697 千円
財産収入	丸岡城天守学術調査報告図書頒布代		178 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

丸岡城の国宝化に向けて、丸岡城の歴史的価値を明らかにするための調査研究を行う。また収集した資料などを市民に公開し、丸岡城に対する認識を高めていく。

【事業の概要】

○報酬（丸岡城調査研究委員会委員報酬）　119千円
○給料（会計年度任用職員給与）　3,750千円
○職員手当等（会計年度任用職員　通勤、期末手当）　863千円
○旅費（費用弁償、特別旅費）　54千円
○需用費　1,508千円
- 消耗品費（事務用消耗品費、保健衛生消耗品費）　108千円
- 燃料費（灯油、LPガス）　154千円
- 食糧費（会議用賄）　2千円
- 印刷製本費（報告書、資料集、ポスター印刷等）　677千円
- 光熱水費（電気料、水道料）　465千円
- 修繕料（トイレ排水管、ガス給湯器）　102千円

○役務費（郵便料、電話料、火災保険料）　164千円
○委託料　28,231千円
- コピー機保守点検委託料　170千円
- 調査委託料（丸岡城天守耐震診断）　28,061千円

- 期間　令和元年度～令和2年度
- 事業費　49,995千円　令和元年度　21,934千円
  令和２年度　28,061千円

○賃借料　313千円
- コピー機リース料　103千円
- 機材借上料　210千円

○補助金（丸岡城天守を国宝にする市民の会事業補助金）　834千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保護費						決算書 P. 215	
中事業	16	丸岡城国宝化推進事業						所管部局	教育委員会事務局 丸岡城国宝化推進室

…【前頁より】

【事業の成果と改善点等】
（公益）文化財建造物保存技術協会に丸岡城天守の耐震診断および耐震補強プランの策定を委託した。丸岡城調査研究委員会　構造部会を開催し、文建協から提案された4つのプランについて検討を行い、天守の耐震補強の方針を決定した。
丸岡城城山の発掘調査の報告書や、丸岡城に関するリーフレットを発刊した。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業						決算書 P. 213	
中事業	26	ＯＮＯメモリアル管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 みくに龍翔館

予算額	当初	決算額	不用額
	4,600 千円	2,482 千円	2,118 千円
前年度	2,682 千円	2,444 千円	238 千円

主な特定財源			
			千円 千円 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】
故小野忠弘の住居兼アトリエの保存とその活用を図るとともに、市民の現代美術に関する知識の向上と美術文化の創造に寄与する。

【事業の概要】

○需用費		619 千円
消耗品費（保健衛生用・施設管理用消耗品等）	107 千円	
印刷製本費（施設パンフレット・募集チラシ）	188 千円	
光熱水費（電気料・水道料）	314 千円	
修繕料（施設修繕）	10 千円	
○役務費		76 千円
通信運搬費（電話料）	67 千円	
火災保険料	9 千円	
○委託料		1,787 千円
警備保障委託料	172 千円	
施設管理委託料	634 千円	
樹木等管理委託料	137 千円	
清掃委託料	274 千円	
イベント事業委託料	500 千円	
制作業務委託料	70 千円	

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業						決算書 P. 213	
中事業	26	ＯＮＯメモリアル管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 みくに龍翔館

…【前頁より】

【事業の成果と改善点等】

新型コロナウイルス感染症対策のため「こどもが描く“ふるさと坂井”絵画展」は中止とし、「北陸三県高校生現代アートビエンナーレ」は令和4年に延期とした。今後の開催の機運を高めるため、これまで以上に事業の周知や運営方法の工夫が必要となる。

なお、ONOメモリアルが、小野忠弘を顕彰する場・若者の育成の場として継続的かつ有効な運用ができるよう、長期的な事業計画について検討が必要である。

【事業の実績等】

・ONOメモリアル入館者数　247 名（前年度比　△410 名）
　※新型コロナウイルス感染症対策のため、4/3～5/21まで臨時休館

・常設展「小野忠弘 雄島の森展ー松村忠祀を偲ぶー」
　インスタレーション：戸田正寿氏
　展示：令和2年3月23日（土）から継続中

・絵画作品の返却
　対象：「こどもが描く“ふるさと坂井”絵画展」
　　「こどものみくにを描こう展」　　歴代入選作品
　返却期間：令和元年9月～令和2年10月

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	101	文化施設管理運営事業						決算書 P. 217	
中事業	01	みくに龍翔館管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 みくに龍翔館

予算額	当初　補7	決算額	不用額
	42,795 千円	35,128 千円	7,667 千円
前年度	28,013 千円	26,776 千円	1,237 千円

主な特定財源			
使用料諸収入	みくに龍翔館入館料	474 千円	
	雑入（町誌等頒布代他）	119 千円	
		千円	
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

坂井市の歴史、自然および文化についての関心を高め、健全な教育、学術および文化の発展に寄与するとともに、歴史的文化遺産を市民共有の財産として適正に収集、保管、展示し、これらの資料に関する調査および活用を図る。

【事業の概要】

◆みくに龍翔館管理運営事業　29,583千円

○給料	会計年度任用職員賃金（4名）	7,614千円
○職員手当等	通勤手当・時間外手当等	1,786千円
○需用費		8,080千円
	消耗品費（事務用消耗品費・施設管理用消耗品費等）	430千円
	燃料費（ガソリン・重油・ＬＰガス・混合油）	2,820千円
	食糧費（来客用賄等）	7千円
	光熱水費（電気料・水道料）	4,265千円
	修繕料（空気調和機修繕等）	558千円
○役務費		902千円
	通信運搬費（電話料・専用回線使用料）	361千円
	手数料（車検・特殊建築物定期点検）	452千円
	保険料（火災、自動車）	89千円
○委託料		7,768千円
	施設管理委託料（エレベーター・空調保守点検、警備等）	6,904千円
	樹木等管理委託料	803千円
	インターネットWEB構築委託料	61千円
○使用料及び賃借料	事務機器借上料・放送受信料等	529千円
○工事請負費	空調機取付・電話回線等工事費	894千円
○備品購入費	施設用備品購入費	1,994千円
○負担金	県博物館協議会負担金等	9千円
○公課費	自動車重量税	7千円

【次頁へ】…

予　算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	101	文化施設管理運営事業						決　算　書 P.　217	
中事業	01	みくに龍翔館管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 みくに龍翔館

…【前頁より】

◆みくに龍翔館資料収集・保存事業　4,743千円

- ○報酬　会計年度任用職員報酬（1名）　170千円
- ○報償費　協力者謝礼　30千円
- ○需用費　259千円
  - 消耗品費（事務用OA機器消耗品費・新聞代等）　259千円
- ○役務費　214千円
  - 手数料（編集手数料）　58千円
  - 展示・収蔵資料保険料　156千円
- ○委託料　3,839千円
  - 害虫駆除委託料　396千円
  - 工作物撤去委託料　1,606千円
  - 燻蒸委託料　1,837千円
- ○備品購入費　展示用備品購入費　231千円

◆みくに龍翔館調査・研究事業　524千円

- ○報償費　指導謝礼、協力者謝礼（報償物品）　134千円
- ○需用費　10千円
  - 消耗品費（書籍購入費）　9千円
  - 食糧費（調査等賄）　1千円
- ○備品購入費　庁用備品購入費　380千円

◆みくに龍翔館展示および教育普及事業　278千円

- ○需用費　218千円
  - 消耗品費（大会・行事用消耗品費等）　56千円
  - 印刷製本費（ポスター・パンフレット等印刷費）　162千円
- ○役務費　50千円
  - 手数料（リサイクル手数料・入館者斡旋手数料）　50千円
- ○賃借料　山車借上料　10千円

【次頁へ】…

予　算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	101	文化施設管理運営事業						決　算　書 P.　217	
中事業	01	みくに龍翔館管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 みくに龍翔館

…【前頁より】

【事業の成果と改善点等】

新型コロナウイルス感染症対策のため、4月1日から5月20日まで臨時休館した。11月からリニューアル改修工事のため長期休館となることから、10月の1ヶ月間を入館無料とし、リニューアルのPRと入館者拡大を図った。

みくに龍翔館施設改修工事に伴い、全収蔵資料を館外へ移設し保管するため、主たる移設先である旧安島幼保園の資料保存環境を整えるとともに、市外施設へ移設する資料の燻蒸を行った。

【事業の目標値と実績等】

	目 標 値	実　　績
みくに龍翔館来館者数（館外活動参加者等を含む）	7,000人	5,516人

※新型コロナウイルス感染症対策のため、4/1～5/20まで臨時休館

- みくに龍翔館長期休館前の入館無料
  10月1日（木）～10月31日（土）　入館者数　3,404人
- 新収蔵資料登録点数　183点（寄贈178点、購入5点）
- 館外活動（講師派遣等）　2回
- 資料の燻蒸処理
  被覆燻蒸　5回
- 市内資料移設先の主な施設整備内容
  鍵・機械警備・防犯カメラ取り付け
  消防設備保守点検
  清掃、除草業務
  空調機取付（既存機器移設）
  除湿器設置
  遮光カーテン取り付け
  施設燻蒸処理

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	101	文化施設管理運営事業						決算書 P. 219	
中事業	02	みくに龍翔館改修整備事業						所管部局	教育委員会事務局 みくに龍翔館

予算額	当初 補13	決算額	不用額
	907,815 千円	63,995 千円	843,820 千円
前年度	0 千円	0 千円	0 千円

主な特定財源			
繰入金	まちづくり整備基金繰入金	12,340	千円
市債	合併特例事業債	46,500	千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【上記決算額内訳】

当該年度分	予算額	907,815 千円	決算額	63,995 千円
翌年度への繰越額		837,000 千円		

【事業の目的】

坂井市の博物館として、市の豊かな風土に育まれた歴史文化遺産を大切に受け継ぎ、研究・発信するため、みくに龍翔館を改修整備する。

【事業の概要】

老朽化した施設を改修するとともに、市全体の歴史・文化遺産を対象とする展示・収蔵内容へ再編し、令和5年のリニューアルオープンを目指す。

○報酬	リニューアル検討委員会委員報酬	162千円
○報償費	有識者謝礼、協力者謝礼（報償物品）	320千円
○旅費	費用弁償	27千円
○需用費		3,053千円
	消耗品費（資料運搬・保存用消耗品費）	3,050千円
	食糧費（会議用賄）	3千円
○委託料		60,428千円
	設計委託料（みくに龍翔館施設改修工事・展示製作）	49,500千円
	建築設備関係委託料（調査・廃棄物処理業務）	461千円
	運搬業務委託料	9,969千円
	移設関係委託料（制作業務・足場設置業務）	498千円
○使用料	有料道路通行料	5千円

（ 翌年度繰越 ）

○委託料（監理委託料）	17,000千円
○工事請負費（みくに龍翔館施設改修工事）	820,000千円

【事業の成果と改善点等】

令和2年度は、施設改修工事・展示製作の設計を行った。また、施設改修工事の準備として、美術運搬を利用し、館内全収蔵資料を館外へ移設した。

今後は、令和3年度に施設改修工事を、令和3年度・4年度に展示製作業務を実施する。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費
大事業	001	図書館管理運営事業						決算書 P. 219	
中事業	01	図書館管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 図書館

予算額	当初	決算額	不用額
	134,786 千円	130,360 千円	4,426 千円
前年度	125,784 千円	123,746 千円	2,038 千円

主な特定財源			
繰入金	まちづくり整備基金繰入金	7,535	千円
諸収入	雑入（図書カード再交付・コピー代・図書弁償金他）	276	千円
諸収入	雑入（自動販売機手数料）	199	千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

地域の情報拠点施設として４つの公共図書館を運営し、読書普及や情報サービスを提供することにより、地域や住民に役立つ図書館事業を推進する。

【事業の概要】

○報酬（図書館協議会委員）			90 千円
○給料（会計年度任用職員給）			37,537 千円
○職員手当等			8,851 千円
○報償費（講師謝礼）			10 千円
○需用費			19,755 千円
	消耗品費	8,271 千円	
	光熱水費	8,134 千円	
	書籍購入費（ブックスタート事業）	1,300 千円	
	修繕料他	2,050 千円	
○役務費			1,119 千円
	通信運搬費	692 千円	
	自動車保険料	88 千円	
	手数料他	339 千円	
○委託料			12,802 千円
	図書館管理システム保守	1,294 千円	
	清掃業務委託	2,308 千円	
	警備保障他	9,200 千円	
○使用料及び賃借料			16,496 千円
	図書館管理システム使用料	11,664 千円	
	図書データ使用料	2,629 千円	
	通信料他	2,203 千円	
○工事請負費			8,041 千円
	三国図書館冷暖房設備改修工事費	7,535 千円	
	春江図書館施設改修工事費他	506 千円	

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費
大事業	001	図書館管理運営事業						決算書 P. 219	
中事業	01	図書館管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 図書館

…【前頁より】

○備品購入費　25,620 千円

図書購入費	24,000 千円
自動体外式除細動器	788 千円
春江図書館木製書架購入費	539 千円
施設用備品購入費他	293 千円

○負担金（県図書館協会費、日本図書館協会費）　39 千円

【利用状況】

４館合計

項目	令和２年度	令和元年度
来館者数（人）	211,542	453,342
貸出人数（人）	138,363	207,676
貸出冊数（冊）	622,630	864,056

【子どもの読書活動推進事業】

項目	令和２年度	令和元年度
子どもの読書活動推進事業講演会（人）	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	横山眞佐子氏ﾌﾞｯｸﾄｰｸ362 横山眞佐子氏懇談会 50
ブックスタート（人）	569	545
おはなし会（人）	78	2,213

【事業の成果と改善点等】

市民が親しみを持てる図書館を目指し、くらしや趣味等に役立つ資料や情報の収集、整備保存に努めた。また市内４館のネットワークや県内外の図書館と相互貸借を行うなど利便性を向上させたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、全館の来館者数、貸出人数、貸出冊数が減少した。

子どもの読書活動推進事業においても、行事等を開催することができなかったが、ブックスタート事業は7月から開始し、乳児の保護者やその家族から好評を得ている。

春江図書館はハートピア春江の改修に伴い約１年間休館（春江支所に窓口を設置）し、耐震工事の他、書架の増設、レイアウトの変更を行った。

その他の3館は必要に応じ修繕や整備を行い快適な施設の維持管理に努めた。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費
大事業	001	図書館管理運営事業						決算書 P. 221	
中事業	02	図書振興整備基金事業						所管部局	教育委員会事務局 図書館

予算額 当初	決算額	不用額
2,000 千円	1,808 千円	192 千円
前年度 0 千円	0 千円	0 千円

主な特定財源	繰入金	図書振興整備基金繰入金	1,808 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

図書館振興整備基金を活用し、市立図書館の施設の整備および機能の充実を図る。

【事業の概要】

坂井市立図書館の施設の整備および機能の充実を図る。

古谷綱武・吉沢久子文庫の資料の収集整理、保存を行うとともに、顕彰に努める。

○備品購入費　施設用備品購入費　1,808 千円

【事業の成果と改善点等】

吉沢久子氏の相続人より、７月に古谷・吉沢両氏所蔵資料（計5,202冊）の寄贈があり、寄贈資料を配架するため複式木製書架１台と、ショーケース２台を購入し、両氏の遺品を展示した。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費
大事業	051	記念文庫等管理運営事業					決算書 P. 221		
中事業	01	記念文庫等管理運営事業					所管部局	教育委員会事務局 図書館	

予算額 当初	決算額	不用額
1,181 千円	852 千円	329 千円
前年度 1,808 千円	1,676 千円	132 千円

主な特定財源	諸収入	雑入（図書頒布代）	22 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

中野重治記念文庫および小葉田淳記念文庫の蔵書、遺品の維持管理・収集を行うとともに記念講演会や行事を開催して、郷土の誇れる文学や歴史を次代に継承する。

【事業の概要】

○報酬費	講師謝礼		20 千円
○需用費			174 千円
	消耗品費	160 千円	
	光熱水費	14 千円	
○委託料	生家跡樹木剪定業務等委託料当		580 千円
○賃借料	防犯カメラリース料		78 千円

【行事の開催】

・くちなし忌　8月21日（土）　中止

※式典および記念講演会は新型コロナウイルス感染症対策のため中止
生家跡には例年どおり野の花を飾り自由参拝とした。

・小葉田淳記念文庫講演会　2月6日（土）

演題　「近世坂井地域における交通と物流」
講師　平野　俊幸氏（福井県立歴史博物館）
場所　たかむく古城ホール　参加者数　８１名

【見学者数】

中野重治記念文庫	年間	141名
小葉田淳記念文庫	年間	116名
今川節の部屋	年間	109名

【事業の成果と改善点等】

中野重治記念文庫および小葉田淳記念文庫の貴重な生原稿等の資料の保存や整理を行った。くちなし忌は新型コロナウイルス感染症対策のため中止としたが、小葉田文庫にちなんだ歴史講演会を2月に開催した。

中野重治記念文庫や今川節の部屋は一般開放しており、資料の保管について安全を図りながら遺品や資料の閲覧、研究活動の支援に努めた。

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	19	図書振興整備基金費
大事業	001	図書振興整備基金					決算書 P. 231		
中事業	01	図書振興整備基金					所管部局	教育委員会事務局 図書館	

予算額 当初　流用	決算額	不用額
2 千円	1 千円	1 千円
前年度 10,000 千円	10,000 千円	0 千円

主な特定財源	財産収入	図書館振興整備基金利子	1 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	1 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

坂井市立図書館の施設の整備および機能の充実を図るため、坂井市図書振興整備基金を設置する。

【事業の概要】

坂井市図書振興整備基金の元金に対する利息を基金に積み立てる。

○積立金　1 千円
図書振興整備基金積立金

（参考）図書振興整備基金の状況　（単位：千円）

令和元年度末現在高 ①	令和2年度中増減額 取崩額 ②	令和2年度中増減額 積立額 ③	令和2年度末現在高①-②+③
10,000	1,758	1	8,243

【事業の成果と改善点】

目的に応じた基金の活用に努めていく。

令和２年度　坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する意見

坂井市社会教育委員　牧田　重雄

はじめに

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、学校が休校になったり、いろいろな行事が中止になったりするなど、教育行政に大きな支障をきたしました。坂井市においても、いろいろな面で、ご苦労があったことと思いますが、職員や関係者の皆様のご努力で、大きな問題もなく令和２年度を終えたことは、何よりだったと思います。

以下、令和２年度の坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況について、点検・評価しましたので報告します。

１．教育委員会の会議開催等の状況について

令和２年度は定例会議１２回・臨時会議１回、合計１３回の会議が開催され、３４件の附議事項が審議されています。定例会議においては、毎回、「就学指定校の変更許可について」が審議されているのがきわだっています。

２．教育長、教育委員会委員の活動状況について

１０１の教育関連活動が計画されていましたが、新型コロナウイルスの影響で、２０余りの活動が中止になったのは残念なことです。その中でも、各小中学校の運動会や体育祭、地域のいろいろな行事に、教育長をはじめ教育委員会委員の皆さんが参加されていることは、市民にとってうれしいことであり、有り難いことです。

また、指導主事訪問(２４回)、全国大会出場激励会(１０回)についても、子どもに寄り添う活動であり、素晴らしい活動だと思います。

３．委員会、審議委員会等の審議状況について

各委員会や審議会が、適時、適切に開催されています。特に、「一筆啓上日本一短い手紙の館運営審議会」は坂井市だけの会議で、大きな特色ではないでしょうか。

４．教育委員会関係の許認可の状況について

１２５の文化財が、国・県・市の指定を受けています。昨年より２件の増加です。有形・無形の区別なく、坂井市の宝なので大事に守っていきたいものです。

５．令和２年度教育関係事業の取組実績について

（１）　教育総務課

○　教育委員会運営事業

・月１回の定例会及び臨時会合わせて教育委員会１３回、また、総合教育会議を２回開催して、教育行政全般にわたり協議を行っています。

○　教育委員会事務局事業

・今年度の特色として、新型コロナウイルス感染症対策事業が実施されました。消毒

液のなどの購入や清掃業務の委託により拡大防止に努めたこと等があげられます。

○　小学校管理事業

・ＧＩＧＡスクール構想に基づき児童１人１台のタブレット端末を整備したり、新型コロナウイルス感染対策として、各小学校において感染拡大防止に努めたりしたことは、評価できます。

○　小学校施設設備事業

・春江小、三国北小、明章小の大規模改造工事がなされ、４校のトイレが改修、１６校の屋内運動場照明改修工事（ＬＥＤ化）が実施されました。

○　中学校管理事業

・ＧＩＧＡスクール構想に基づき生徒１人１台のタブレット端末を整備したり、新型コロナウイルス感染症対策として、各中学校において感染拡大に努めたりしています。

○　中学校施設整備事業

・ＧＩＧＡスクール構想に基づき校内通信ネットワーク環境を整備したことは、時代に適した対応だと思います。

（２）　学校教育課

○　教育相談事業

・不登校の児童生徒に対し、適応指導教室と学校が連携して保護者支援や児童生徒の個別指導が行われています。適応指導教室の復帰率が元年より下がっているのが気がかりです。

○　学校・学級運営支援事業

・発達障がい等により、特別な支援を必要としている児童・生徒に学級サポーターを配置することは重要であると思います。また、教員の事務負担軽減のため、学校運営支援員を増やしたことは、教員の多忙化解消に繋がると評価できます。

○　小学校教育振興事業

（小学校教育振興事業）

・新型コロナウイルス感染症対策のため、臨時休校となったのに伴い、家庭学習用の動画の視聴が全家庭で行えるよう対応されたことは素晴らしいことです。

（小学校児童管理事業）

・児童一人一人の健康保持増進のため、養護教諭を中心に適切な指導が行われています。

（ふれあい交流事業）

・新型コロナウイルス感染症の影響により、他の学校との交流やふれあいが難しく、音楽交流会や連合運動会が中止になったことは、残念なことでした。

（学力充実推進事業）

・新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休校のため、例年実施している坂井市学力調査が中止になりました。

（児童就学援助事業）

・就学援助を必要とする児童に対して、適正な援助が行われています。元年より対象者数が減少していることは喜ばしいことです。

（小学校通学支援事業）

・新型コロナウイルス感染症対策のため、スクールバスの大型化や便数を増やしたことは適切な対応と考えます。

○　中学校教育振興事業

（中学校教育振興事業）

・職場体験をはじめとするキャリア教育が、新型コロナ感染症のため、実施できませんでしたが、各学校の創意工夫により生徒自身が坂井市の魅力や特徴、そして自分の将来について考えることが出来たのは、生徒にとって良かったことだと思います。

（中学校生徒健康事業）

・養護教諭を中心に、生徒一人一人の健康指導が適切に行われています。

（クラブ活動推進事業）

・新型コロナウイルス感染症のため、ほとんどの競技大会やコンクールが中止になりましたが、学校の工夫により生徒の技術力・競技力が向上しているのは素晴らしいことです。

外部指導者をさらに増やして、教員の勤務負担軽減をはかってほしいです。

（生徒就学援助事業）

・就学援助を必要とする生徒に対して、適切な援助が行われています。元年より対象者が増加しているのが気がかりです。

（中学校通学支援事業）

・新型コロナウイルス感染症対策のため、スクールバスの大型化や便数を増やしたことは適切な対応と考えます。

○　学校給食管理事業

（学校給食管理事業）

・学校が臨時休校となったため、給食実施回数が例年より少なくなりましたが、その分調理場等の衛生管理の向上に努めていただきました。

（丸岡・三国・春江坂井学校給食管理事業）

・３か月にわたる学校休校期間の家庭の食費負担分を軽減するため、学校給食費を３か月間（６～８月）無料化し、家庭の経済的負担を軽減したのは、家庭にとってありがたいことでした。

（３）　生涯学習課

○　社会教育事業

（社会教育事業）

・社会教育法に基づく社会教育委員の会(委員１５名)を設置し、年４回会を開催してい

ます。また、合宿通学事業の実行委員として、事業視察などを行っています。

（社会教育団体補助事業）

・ＰＴＡ連合会や青少年育成団体の活動を補助・支援しています。各種団体の役員のなり手がないのが、課題だと思われます。

○　市民運動推進事業

・花壇コンクールやふるさとづくり大会など、豊かで明るく住みやすいまちづくりを目指して、今後一層の市民の意識向上を図っていただきたいと思います。

○　国際交流推進事業

・新型コロナウイルス感染症の影響により、英国招聘および派遣事業は中止を余儀なくされました。国際化が進む中、コロナ終息の暁には、是非とも存続してほしいです。

○　青少年健全育成事業

（子ども会育成事業）

・地区の子ども会は活発に行われていますが、市全体をみると、カルタ大会などやや低調です。ジュニア―リーダーズクラブの参加者も減少気味なので、シニアリーダーの育成を図ってほしいと思います。

（成人式事業）

・２年度は、大雪のため３月に延期されました。大雪の中、強行した市町もありましたが、坂井市の判断は正しかったと思われます。

（わんぱく少年団事業）

・コロナ禍の中で活動が制約され、指導者の皆さんは大変苦労されたと思いますが、素晴らしい活動なので、是非続けてほしいです。

（青少年育成坂井市民会議事業）

・近年の青少年を取り巻く環境は厳しいものがあります。青少年の健全な心を育てるために、市民会議のさらなる発展が望まれます。

（放課後子ども教室事業）

・地域のボランティアの協力をいただきながら、子どもの居場所を確保し、様々な学習・体験を提供することが大事かと思われます。

（合宿通学事業）

・コロナ禍の中で、本年度は「防災合宿」をテーマに実施されました。最近、日本各地で災害が多発しており、的を得たテーマだったと思います。

（坂井・延岡ジュニア交流事業）

・本年度は延岡市を招聘する年でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になりました。姉妹都市との交流は大事なので、これからも続けてほしいです。

○　愛護センター事業

・青少年の健全な育成を阻害するおそれのある行為を、補導活動により防止することは大事なことであり、一層の充実が求められます。

○　スポーツ推進委員運営事業

・コロナ禍で、派遣指導が減少したり、イベントが中止になったりしましたが、マリン体操やラジオ体操指導などの活動を実施していただきました。

○　保健体育事業

・スポーツ推進審議会で、スポーツ推進に関する重要事項について審議を行いました。

○スポーツ振興事業

（スポーツ大会運営事業）

・坂井市古城マラソン大会は中止になりましたが、市民スポーツ祭が開催されたことで、スポーツの普及が図られ、市民の健康増進に寄与できたことは良かったと思います。

（ワールドマスターズゲーム運営事業）

・ディスクゴルフの世界大会が坂井市において開催されることになっており、知名度向上がこれからの課題と思われます。

（スポーツ振興事業）

・全国大会に出場する選手・監督に対し、大会での活躍を激励するもので、選手たちの励みになったと思われます。

○　体育施設管理事業

・各体育施設について、修繕を行うなど適正な維持管理に努められています。利用者の満足度も向上しています。今後老朽化した施設の整備も必要かと思います。

（４）　文化課

○　文化振興事業

（文化振興事業）

・令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、ほとんどの全国大会が中止になりましたが、全国大会に出場した個人には奨励金を贈り激励しています。

（文化団体補助事業）

・まるおか子供歌舞伎や子ども文化祭は中止になりましたが、ふれあいコンサートや郷土芸能祭などが開催され、市の文化振興に大きく貢献しています。

（文化活動支援事業）

・文化祭は実行委員会に委託し、市内４地区の会場でそれぞれ芸能・展示発表が盛大に実施されたことは喜ばしいことでした。

（一筆啓上手紙の館管理運営事業）

・一筆啓上賞の作品を始めとする手紙にまつわる企画等を展開し、丸岡城と連携した文化と観光の充実が図られています。

○　文化施設管理運営事業

・ハートピア春江の大規模改修工事が行われました。また、みくに市民センターは、施設の適正な維持管理が図られました。

○　文化財保護審議会運営事業

・文化財保護審議委員(８名)会で、５議案処理されました。

○文化財保存事業

（文化財保存管理事業）

・コウノトリのオスの剥製作成など、市民に身近な文化財が周知されて、大変良かったと思います。

（埋蔵文化財発掘調査事業）

・埋蔵文化財包蔵地内での工事は１９６件の届け出があり、遺跡への影響が懸念される６０件試堀調査などを行って対応しています。

（丸岡城関連施設管理運営事業）

・指定管理者である丸岡文化財団は、丸岡城周辺の一体的な管理運営を行っています。丸岡城の入場者数は、コロナ禍の影響で目標値の半分程度でした。

（丸岡城国宝化推進事業）

・丸岡城の国宝化に向けて、丸岡城の歴史的価値を明らかにする調査研究が行われています。また収集した資料は市民に公開し認識を高めています。早く丸岡城が国宝化されることを期待しています。

（５）　みくに龍翔館

○　文化施設管理運営事業

（みくに龍翔館管理運営事業）

・新型コロナウイルス感染症対策のため、4月１日から５月２０日まで休館しました。また、１１月からリニューアル改修工事で長期休館となることから、１０月の１ヶ月間を入館無料として、リニュ―アルのＰＲを行っています。新しい龍翔館の開館が待ち遠しいです。

（みくに龍翔館改修整備事業）

・令和５年のリニューアル改修にむけて、その準備として館内全収蔵資料を館外に移設しました。

（６）　図書館

○　図書館管理運営事業

（図書館管理運営事業）

・地域の情報拠点施設として４つの図書館が運営し、読書普及や情報サービスを提供しています。コロナ禍の影響で来館者数・貸出冊数が減少しているのは残念です。

○　記念文庫管理運営事業

・中野重治文庫及び小葉田淳記念文庫は、貴重な蔵書、遺品の宝庫です。今後も適切な維持管理をお願いしたいと思います。

令和２年度　坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価についての意見

令和３年度坂井市ＰＴＡ連合会会長　久保敏秀

１．教育委員会の会議開催等の状況について

多岐にわたる事案について適切かつタイムリーに協議されていると思います。特に新型コロナウイルス感染症の影響により例年にはない議案の取扱いが増えていることが伺えますが、子供たちの学校生活に直結するものにも取り組んでいただいており、適切な会議の運営であると判断致します。

２．教育長、教育委員会委員の活動状況について

年度前半を中心に新型コロナウイルス感染症により中止・規模縮小となった事業も見受けられますが、開催されたものには十分に参加及び活動がされていると思います。小中学校においては制約を受けながらも運動会や卒業式なども無事実施され、教育長、教育委員会委員の可能な限りのご臨席をいただけたことに感謝を申し上げる次第です。

３．委員会、審議会等の審議状況について

懸案についての審議が滞りなく実施されたと判断致します。

４．教育委員会関係の許認可の状況について

文化財を後世に残し伝えていく上で許認可作業は大切なものであると思います。
保存価値のあるもの、歴史的価値のあるもの、有形無形を含め十分な取扱いがされていると思います。

５．令和２年度　教育委員会関係事業の取組実績について

各事業それぞれに必要なものが執行されていると思います。これからも時代の流れに合わせて、都度必要な事業の取組み及び予算の執行が柔軟に継続できることに留意していただきたいと思います。特に子供たちの教育環境に関わるものとして、学校施設の充実や備品拡充、通学路を中心とした更なる安全の確保、ＩＣＴ教育専任担当者の充実、教職員の業務負担緩和のための増員や予算確保などに注力いただければ幸いです。